令和7年4月　理工学府オリエンテーション資料一覧
List of orientation materials in April 2025

＊資料名をクリックすると該当ページまたはリンク先に移動します。 Click "Document Title" to move to the each documents or link.

区分 Classification		資料名　Document Title	備考（内容等）　Remarks
◎	1	オリエンテーション説明事項 Description of Orientation in April 2025 (Japanese)	
	2	オリエンテーション説明事項（英文） Description of Orientation in April 2025 (English)	
①一覧	1	各種ウェブサイトについて The Information about the Websites	
	2	各教育分野問い合わせ先一覧 Faculty Members to Contact regarding School Affairs	
②理工学府　履修・成績関係	1	理工学府履修案内 Course Completion Guidelines（Japanese）	理工学府ウェブサイト > 在学生向け情報 > 履修について > 履修案内 https://www.fse.ynu.ac.jp/students/index.html 令和7年度入学者向け。令和6年度以前入学者は入学年度の履修案内を参照すること。 令和7年度の開講科目、学部科目、教職免許取得希望者向け科目については、令和7年度履修案内より確認すること。
	2	理工学府履修案内（英文） Course Completion Guidelines（English）	Top page of the Graduate School of Engineering Science website > Current Students > Course Registration > Course Completion Guidelines https://www.fse.ynu.ac.jp/english/students/index.html For students enrolled in AY2025. For students enrolled before AY2024, Please refer to it in the enrollment year. For information on Courses and College-level Courses, please refer to Course Completion Guidelines (2025).
	3	理工学府履修案内　正誤表(日本語のみ) List of Errata from Course Completion Guidelines （Only Japanese）	履修案内の記載事項に変更があった場合に、更新します。 It will be updated, if the contents of Course Completion Guidelines changed. 理工学府ウェブサイト > 在学生向け情報 > 履修について > 履修案内 > 履修案内正誤表 https://www.fse.ynu.ac.jp/students/index.html
	4	理工学府時間割表 Timetables	理工学府ウェブサイト > 在学生向け情報 > 履修について > 時間割 Top > Current Stundents > Course Registration > Timetables https://www.fse.ynu.ac.jp/students/registration/timetables/
	5	令和7年度春学期 履修登録について Procedures for Course Registration (Spring Semester)	履修登録期間：4/7（月）～4/18（金）　9：00～23：00 必ず履修登録期間中にWEB（学務情報システム）で履修登録すること。 Period: 7 April, Mon – 18 April, Fri
	6	履修登録時の学生プロファイル入力 Student Profile	
	7	履修計画書、研究指導計画書・研究計画書について NOTICE: "Course Registration Plan" and "Research Guidance Plan and Research Plan"	履修計画書：学期ごとに提出 研究指導計画書・研究計画書：年度ごとに提出 "Course Regstration Plan": submit each semester "Research Guidance Plan and Research Plan": submit each academic year
	8	履修計画書 Course Registration Plan	履修計画を立てるにあたり、指導教員の承諾を得ること。 完成した履修計画書は理工学府係へ提出すること。 "Course Registration Plan" must be approved by your supervisor. It is required to submit to Graduate School of Engineering Science Section.
	9	研究指導計画書・研究計画書 Research Guidance Plan and Research Plan	指導教員と充分な打ち合わせの上、作成すること。 完成した計画書は写しを理工学府係へ提出すること。 Please create after sufficient discussion with your supervisor. It is required to submit the copy of it to Graduate School of Engineering Science Section.
	10	理工学府MPBLについて Multi-diciplinary Problem Based Learning in Graduate School of Engineering Science	PEDプログラム必修科目。授業支援システムに掲載します。 Required course of PED Program. Will be posted on YNU-LMS.
	11	実務系科目の紹介 Introduction of Professional Courses	授業支援システムに掲載します。 Will be posted on YNU-LMS
	12	先取履修した科目の単位認定申請について	博士課程前期新入生のみ対象
	13	インターンシップ報告書 Internship Report	インターンシップ科目を履修した者は、授業支援システムで必ず提出すること。 It is required to submit by YNU-LMS, if you have taken the internship course.
	14	博士課程前期学生の学術論文への貢献に対する顕彰について Awarding for contribution to academic thesis of Master's program students （Only Japanese）	学術論文を発表、もしくはこれに貢献した**博士課程前期学生**を、修了時に特に顕彰します。 **Master's program students** to be awarded for presenting or contributing to academic theses
③その他履修関係	1	副専攻プログラム「地域創造科目」履修案内 Graduate sub-major program "Creative education program about local problems"	詳しい情報は、地域実践教育研究センターのWEBサイトをご覧ください。 https://www.chiki-ct.info/
	2	成長戦略教育研究センターの科目について Courses of Center for Economic Growth Strategy	イノベーションと課題発見Ⅰ・Ⅱ、 博士学生のためのキャリアデザインⅠ・Ⅱ／博士進学とキャリアデザイン
④情報システム（IT）関係	1	情報基盤センタークイックガイド Quick Guide to the Information Technology Service Center for New Students	情報基盤センター > クイックガイド YNU Information Technology Service Center > Quick guide https://www.itsc.ynu.ac.jp/service/quickguide.html 学外から閲覧する際はYNU VPNサービスを利用してください。 Please use the YNU VPN Service, when off campus.
	2	学外からの各種システム接続方法について System Connection Methods from off campus	○学務情報システム（EAIS）： YNUログインID+YNUメールによる多要素認証が必要です Multi-factor authentication with YNU login ID + YNU email is required. https://risyu.jmk.ynu.ac.jp/gakumu_portal/common_images/loginforgakujyo.pdf ○授業支援システム（YNU-LMS）： YNUメールによる多要素認証が必要です Multi-factor authentication via YNU Mail is required. https://www.itsc.ynu.ac.jp/files/class/Off-Campus-to-lms.pdf

区分 Classification		資料名　Document Title	備考（内容等）　Remarks
⑤学生生活	1	学生支援課からのお知らせ Notice from Student Support Division (Only Japanese)	大学生活に必要な情報をまとめた資料 Documents of necessary information for Student Life
	2	定期健康診断のお知らせ Notice regarding the 2025 Student Regular Health Exam	保健管理センターウェブサイト：https://www.hoken.ynu.ac.jp/
	3	通学定期券について Student Commuter Pass	
	4	キャリア・サポートルームからのお知らせ（就職行事日程） Schedule of Job Guidance	キャリアサポートルーム ウェブサイト：https://www.gakuseisupport.ynu.ac.jp/sp/career/
	5	理系女子学生の応援ネットワーク YNU Women Initiative Network	
	6	キャンパス・サポーター（障がい学生支援）募集	
	7	成長戦略教育研究センターからのお知らせ To everyone who goes on to the doctoral program (Only Japanese)	博士課程向けキャリア支援制度の紹介
	8	横浜国立大学附属図書館　利用案内 YNU Library User's Guide (Only Japanese)	
	9	YNUマップ YNU MAP	
⑥研究関係	1	研究の心得 Fundamentals of Research	YNU研究推進機構ウェブサイト > YNU研究者向け > その他 > 研究倫理教育冊子 > 研究の心得 https://www.ripo.ynu.ac.jp/researcher/other/researchethics/
	2	安全の手引 Safety Guidebook (Only Japanese)	YNU安全衛生情報まとめサイト > 学生向け > 安全情報 > (2)工学府 > 実験実習における安全の手引き（学内限定） http://www.safety.ynu.ac.jp/
	3	著作権ガイド Copyright Guide	博士論文の適切な作成指針について > 1.大学院生の研究者倫理（科学者の行動規範）について https://www.ynu.ac.jp/education/plan/dissertation.html
	4	居残り電子管理システム YNU Overtime Application	
⑦留学生・国際交流関係	1	新入留学生オリエンテーションのお知らせ Orientation for New International Students	4/3（木）　16：20～17：40　教育文化ホール大集会室 3 April, Thu, 16:20-17:40　Education and Culture Hall (S1-2)
	2	海外渡航時の手続きについて Procedures for overseas travel	海外渡航届・私事渡航届のフォームURLは授業支援システム内で確認してください。 Form URL of Notification of Overseas Travel can be confirmed in YNU-LMS.
	3	在留カード情報の提出 Request for submission of your residence card information	グローバル推進課＞在留資格関連の手続き https://global.ynu.ac.jp/support/status_of_residence/
	4	国際交流/留学情報 Handbook for International Exchange	グローバル推進課 ウェブサイト＞留学生支援・交流＞授業支援システム「国際交流/留学」 https://global.ynu.ac.jp/support/globalcampus/
	5	安全保障輸出管理ガイダンス Security Export Control	安全保障輸出管理（学内限定） For international students https://www.ripo.ynu.ac.jp/researcher/start/security/anzenhosho/
⑧その他お知らせ・パンフレット等	1	喫煙に関するパンフレット About Smoking	
	2	大地震行動マニュアル Manual of Evacuation	
	3	学生生活に関する注意事項	

※掲載資料の変更や追加がある場合は、授業支援システム（【連絡専用】 理工学系事務部教務課理工学府係[Zac0011]）に掲載します。

※The materials will be posted on the YNU-LMS (【連絡専用】 理工学系事務部教務課理工学府係[Zac0011]) if there are any changes or additions.

大学院理工学府 令和７年４月オリエンテーション説明事項

理工学府係

＊本資料で案内している各種システムについては、別紙「各種ウェブサイトについて」で URL および QR コードをお知らせしていますので、閲覧の際に活用してください。

◆YNU ログイン ID、YNU メールアドレスについて

各種システムを利用する際に使用する YNU ログイン ID、大学からの連絡に使用する YNU メールアドレスが発行されます。
使用開始するには初期設定が必要となりますので、別途配布される情報基盤センターのクイックガイドを参照の上、手続きを行ってください。

◆履修・成績関係

1. 【時間割について】

「時間割」は**理工学府ウェブサイト**に掲載します。
掲載内容に変更があった場合は、同ページの「時間割更新情報」でお知らせします。
理工学府トップ ＞ 在学生向け情報 ＞ 履修について ＞ 時間割
https://www.fse.ynu.ac.jp/students/registration/timetables/

2. 【履修案内について】

理工学府の履修は、**「横浜国立大学大学院理工学府 履修案内」**に従い履修してください。
記載内容に変更があった場合は、「時間割」と同じページに掲載されている「履修案内正誤表」でお知らせします。

3. 【履修登録について】

(1) 履修したい科目が決まったら、**「授業支援システム」で仮登録**してください。
仮登録することで、講義資料、教員からのお知らせ等が閲覧できるようになります。
仮登録をはじめとした「授業支援システム」の操作方法については、情報基盤センターの利用案内で確認してください。　※科目によっては授業支援システムを使用しない場合があります。

(2) 履修登録期間中に、**「学務情報システム」で履修登録**してください。
「授業支援システム」で仮登録していても、「学務情報システム」での履修登録をしなければ、成績がつかないので、忘れずに行ってください。
春学期の履修登録期間は４月７日（月）～18 日（金）です。

(3) システムでの履修登録とあわせて、**「履修計画書」を「授業支援システム」で提出**してください。
「履修計画書」は指導教員の指導・助言のもと、作成してください。

4. 【インターンシップ報告書について】

インターンシップ科目を履修する場合は**「インターンシップ報告書」**を理工学府係へ授業支援システムで提出してください。提出時期については、報告書様式内に記載された説明をご確認ください。

提出場所および報告書様式掲載場所（授業支援システム内）
講義名：【連絡専用】理工学系事務部教務課理工学府係[Zac0011]
授業名：インターンシップ報告書/ Internship Report

5. 【成績の確認について】
今年度春学期の成績は、10 月 1 日（水）から**学務情報システムで閲覧**できるようになります。

◆研究指導計画書・研究計画書

指導教員と充分な打ち合わせの上、**「研究指導計画書・研究計画書」**を作成し、完成した計画書は指導教員-学生間での共有を行ってください。また、完成した**「研究指導計画書・研究計画書」の写しを、「授業支援システム」で提出**してください。

◆その他

1. **【事務部からの呼び出し、諸連絡について】**
主に**「授業支援システム」を用いたメール配信（お知らせ発信）**により行います。
各学生の YNU メールアドレス宛にメールが送られますが、ファイルを添付して送信することができません。送信内容に添付ファイルがある場合は、**「授業支援システム」**を確認するようメール本文中で案内しますので、その際は「授業支援システム」にログインして内容を確認してください。

2. 【掲示板について】
「授業支援システム」、「在学生向けオンライン掲示板」、理工学部講義棟（S5-5）横の掲示板にお知らせを掲示することがありますので、定期的に確認するようにしてください。

授業支援システム　＊主に理工学府生向けの情報を掲示します
講義名：【連絡専用】理工学系事務部教務課理工学府係[Zac0011]

在学生向けオンライン掲示板　＊主に全学生向けの情報を掲示します
https://stu-bbs.ynu.ac.jp/#/

3. **【博士課程前期学生の学術論文への貢献に対する顕彰について】**
理工学府では、学術論文を発表もしくはこれに貢献した博士課程前期学生を、修了時に特に顕彰することとしています。優秀学生表彰、奨学金返済免除などの評価においても学術論文への貢献度を重視します。詳細は「博士課程前期学生の学術論文への貢献に対する顕彰について」をご参照ください。

4. **【健康診断】**
健康診断が実施される予定ですので、受診してください。
詳細は保健管理センターウェブサイトで確認してください。

横浜国立大学　保健管理センター
https://www.hoken.ynu.ac.jp/

横浜国立大学
理工学系教務課理工学府係
ses.daigakuin-eng@ynu.ac.jp

Description of Graduate School of Engineering Science Orientation in April 2025

Graduate School of Engineering Science Section

Note: URLs and QR codes of various systems described in the following text can be found in the document "The Information about the Websites".

◆YNU Login ID, YNU Mail

It is necessary to use your YNU Login ID and passwords when you login YNU-Learning Management System (YNU-LMS) and various systems. And some information will be delivered to your YNU Mail.

Please complete the initial settings of YNU Login ID and YNU Mail.

*Reference material: Quick Guide to Information Technology Service for New Students

◆Course registration and grade

1. 【Timetable】

Timetable will be posted in **the web site of Graduate School of Engineering Science**.

Changes of the timetable will be announced on "Updated Information of Timetables".

Top > Current Students > Course Registration > Timetables

https://www.fse.ynu.ac.jp/students/registration/timetables/

2. 【Course Completion Guidelines】

Please refer to the **"Course Completion Guidelines"** for courses at this graduate school.

Changes of the guidelines will be announced on the "List of Errata from Course Completion Guidelines". This list will be posted on the same web page of the timetable.

3. 【Course Registration】

(1) Please **pre-register** the courses you want to take **on YNU-LMS**.

You can browse the documents of lectures and the messages from teachers, etc. after pre-registration. *Some courses may not use YNU-LMS.

How to use YNU-LMS: Tutorial for Students (YNU Information Technology Service Center)

(2) Please **register** the courses **on the Educational Affairs Information System (EAIS)** during the period of course registration.

You will not get grades unless you register in EAIS, even if you pre-register in YNU-LMS.

Period of Course Registration: Monday 7 April – Friday 18 April

(3) Please submit **"Course Registration Plan" on YNU-LMS**.

"Course Registration Plan" must be approved by your supervisor.

4. 【Internship Report】

It is necessary to submit "Internship Report" to Graduate School of Engineering Science Section by YNU-LMS, once you take part in the internship as a course of the Graduate School of Engineering Science.

Place of submission and format (YNU-LMS)

Course Name: 【連絡専用】理工学系事務部教務課理工学府係[Zac0011]

Lecture Name: インターンシップ報告書/ Internship Report

5. 【Confirmation of grades】

The results for the spring semester will be available **on the EAIS** from Wednesday 1 October.

◆Research Guidance Plan and Research Plan

"Research Guidance Plan and Research Plan" must be created and shared between supervisor and each student. Please submit the copy of it **on YNU-LMS**.

◆Others

1. 【Calling and contacting from the university office】

Mainly **by email delivery from YNU-LMS**.

The e-mail would be delivered to each student's YNU Mail, but you cannot confirm the attached file from YNU Mail. It is necessary to **login YNU-LMS** when you confirm the attached file.

2. 【Bulletin board】

Some information will be posted in the bulletin board on YNU-LMS, YNU Online BBS and the bulletin board beside Lecture Hall A [Eng] (S5-5).

Place of the bulletin board (YNU-LMS)　*Mainly for students of our graduate school

Course Name: 【連絡専用】理工学系事務部教務課理工学府係[Zac0011]

YNU Online BBS　*Mainly for all students

https://stu-bbs.ynu.ac.jp/#/

3. 【Awards for contributions to academic papers of master's students】

Master's students who have published or contributed to academic papers will be given special commendation by Graduate School of Engineering Science upon completion.

As for the assessment of "Outstanding Students Award", "Scholarship payment exemption", we also emphasize this contribution.

4. 【Health Examination】

Health examination will be held for students.

The detail can be found on the website of Health Service Center.

YNU Health Service Center

https://www.hoken.ynu.ac.jp/english/index.html

Graduate School of Engineering Science Section, YNU

Email: ses.daigakuin-eng@ynu.ac.jp

各種ウェブサイトについて（理工学府）

The Information about the Websites (Graduate School of Engineering Science).

1-1．理工学府ウェブサイト　在学生向け情報ページ

掲載ページ：　https://www.fse.ynu.ac.jp/students/index.html
理工学府ウェブサイト＞在学生向け情報

○理工学府オリエンテーション資料や、履修案内、時間割、シラバス、履修手続に関する各種書類等がこのページに掲載されている。

1-2．理工学府ウェブサイト　（英語）　Graduate School of Engineering Science Website（English）

URL：　https://www.fse.ynu.ac.jp/english/students/index.html
Graduate School of Engineering Science > Current Students

○Orientation Materials, Course Completion Guidelines, Timetables, Syllabus, Procedures for Course Registration, etc.

2．授業支援システム　Learning Management System

掲載ページ：https://lms.ynu.ac.jp/
横浜国立大学ウェブサイト＞教育・学生生活＞在学生専用 Y's ネット＞授業支援システム

○授業支援システムを利用する授業での資料受領や課題提出に利用する。
This system will be used for receiving documents and submitting reports related to registered courses.
○理工学府係からの呼び出しやお知らせが掲載される。
The Graduate School of Engineering Section will post the academic affairs information on this system.

3．学務情報システム　Educational Affairs Information System

掲載ページ：https://risyu.jmk.ynu.ac.jp/gakumu_portal/login.aspx
横浜国立大学ウェブサイト＞教育・学生生活＞在学生専用 Y's ネット＞学務情報システム

○履修登録、個別成績表の閲覧等 Confirmation of Grades and Course Registration

4．在学生向けオンライン掲示板　BBS for Current Students

掲載ページ：https://stu-bbs.ynu.ac.jp/
横浜国立大学ウェブサイト＞教育・学生生活＞在学生向けポータルサイト・学生生活案内
＞在学生向けポータルサイト＞オンライン掲示板

○学生向けのお知らせ Notices for Students

各教育分野　問い合わせ先一覧

Faculty Members to Contact regarding School Affairs

（メールアドレスは、@の後にynu.ac.jp　を付けてください）

専攻 Department	教育分野 Specialization	令和7年度　教務・図書委員等 Person in charge
機械・材料・海洋系工学専攻 Department of Mechanical Engineering, Materials Science, and Ocean Engineering	**機械工学教育分野 （NA1、QA1）** Mechanical Engineering **航空宇宙工学教育分野 （NA2）** Aerospace Engineering **集積プロセス工学教育分野 （NA7）** Process Integration **エネルギー材料教育分野 （QA4）** Energy Materials	**渕脇　大海** 准教授 Associate Prof. Ohmi FUCHIWAKI 045-339-3693 fuchiwaki-ohmi-xk@
	エネルギー材料教育分野 （QA4） Energy Materials ※NIMS関係者のみ	**中尾　航** 教授 Prof. Wataru NAKAO 045-339-4016 nakao-wataru-hy@
	材料工学教育分野 （NA3、QA2） Materials Science Frontier **航空宇宙工学教育分野 （NA4）** Aerospace Engineering **集積プロセス工学教育分野 （NA8）** Process Integration **エネルギー材料教育分野 （QA5）** Energy Materials	**長谷川　誠** 教授 Prof. Makoto HASEGAWA 045-339-3870 hasegawa-makoto-zy@
	エネルギー材料教育分野 （QA5） Energy Materials ※NIMS関係者のみ	**中尾　航** 教授 Prof. Wataru NAKAO 045-339-4016 nakao-wataru-hy@
	海洋空間教育分野 （NA5、QA3） Systems Design for Ocean-Space **航空宇宙工学教育分野 （NA6）** Aerospace Engineering	**樋口　丈浩** 准教授 Associate Prof. Takehiro HIGUCHI 045-339-3697 higuchi-takehiro-cy@
化学・生命系理工学専攻 Department of Chemistry and Life Science	**化学教育分野 （NB1、QB1）** Chemistry **応用化学教育分野 （NB2、QB2）** Applied Chemistry **エネルギー化学教育分野 （NB3）** Energy and Sustainable Chemistry **エネルギー材料教育分野 （QB4）** Energy Materials	**小久保　尚** 講師 Lecturer Hisashi KOKUBO 045-339-3956 kokubo-hisashi-kh@
	エネルギー材料教育分野 （QB4） Energy Materials ※NIMS関係者のみ	**中尾　航** 教授 Prof. Wataru NAKAO 045-339-4016 nakao-wataru-hy@
	化学応用・バイオ教育分野 （NB4、QB3） Chemistry Applications and Life Science **エネルギー化学教育分野 （NB5）** Energy and Sustainable Chemistry **エネルギー材料教育分野 （QB5）** Energy Materials	**伊藤　大輔** 講師 Lecturer Daisuke ITO 045-339-4178 ito-daisuke-bg@
	エネルギー材料教育分野 （QB5） Energy Materials ※NIMS関係者のみ	**中尾　航** 教授 Prof. Wataru NAKAO 045-339-4016 nakao-wataru-hy@
数物・電子情報系理工学専攻 Department of Mathematics, Physics, Electrical Engineering and Computer Science	**数学教育分野 （NC1、QC1）** Mathematical Sciences	**植木　誠一郎** 教授 Prof. Seiichiro UEKI 045-339-4212 ueki-seiichiro-zg@
	物理工学教育分野 （NC2、QC2） Physics	**上原　政智** 准教授 Associate Prof. Masatomo UEHARA 045-339-4187 uehara-masatomo-cf@
	応用物理教育分野 （NC3、QC3） Applied Physics **情報システム教育分野 （NC4、QC4）** Information Systems **電気電子ネットワーク教育分野 （NC5、QC5）** Electrical and Computer Engineering **集積エレクトロニクス教育分野 （NC6）** Integrated Electronics	**大塚　和弘** 教授 Prof. Kazuhiro OTSUKA 045-339-4127 otsuka-kazuhiro-xb@

理工学系事務部教務課理工学府係
Graduate School of Engineering Science Section
045-339-3817、3818
ses.daigakuin-eng@

令和７年度大学院理工学府 春学期履修登録について

１．履修登録について

（1）履修したい科目が決まったら、**「授業支援システム」で仮登録**してください。
仮登録することで、講義資料、教員からのお知らせ等が閲覧できるようになります。
仮登録をはじめとした「授業支援システム」の操作方法については、情報基盤センターの利用案内で確認してください。

（2）履修登録期間中に、**「学務情報システム」で履修登録**してください。
「授業支援システム」で仮登録していても、「学務情報システム」での履修登録をしなければ、成績がつかないので、忘れずに行ってください。

（3）履修登録にあたっては、予め学習計画を立て、「履修計画書」を作成してください。指導教員の指導、助言のもと「履修計画書」を作成し、授業支援システムにより提出してください。

２．履修登録スケジュール

◎春学期

履修登録期間：**令和７年４月７日（月）～18日（金）**
時間　9：00～23：00

履修確認・訂正期間：**令和７年４月24日（木）～28日（月）**
時間　9：00～23：00
＊正しく履修登録されているか必ず確認してください。これ以降、履修の追加登録はできません。

キャンセル期間：**令和７年５月12日（月）～16日（金）**
時間　9：00～23：00
＊履修登録エラーが残っている場合は操作できません。

３．履修計画書【各学期提出】

指導教員の指導、助言のもと「履修計画書」を作成し、以下提出場所へ提出してください。
「履修計画書」には、指導教員からの承認日を記載してください。

提出期限：**令和７年４月７日（月）～21日（月）**
提出場所：授業支援システム（様式データも下記からダウンロードできます）
講義名：【連絡専用】理工学系事務部教務課理工学府係[Zac0011]
授業名：履修計画書／Course Registration Plan

※今学期に履修する科目がない場合、「履修計画書」を提出しなくても構いません。
※履修登録期間終了後に訂正・キャンセルを行った場合は、**５月19日（月）**までに再提出してください。

○「履修計画書」は、必ず本人控えとして、コピーを保管しておくこと。

４．履修の詳細について

履修についての詳細は「横浜国立大学大学院理工学府 履修案内」を参照すること。

▼理工学府 WEB サイト　在学生向け情報▼
https://www.fse.ynu.ac.jp/students/index.html

※上記ページに学務情報システムや同システム操作説明書へのリンクがあります。

< The English version is the back side >

2025 Graduate School of Engineering Science
Procedures for Course Registration (Spring Semester)

1. Course Registration

(1) Please **pre-register** the courses you want to take **on YNU Learning Management System (YNU-LMS)**. You can browse the documents of lectures and the messages from teachers, etc. after pre-registration. *Some courses may not use YNU-LMS.
How to use YNU-LMS: Tutorial for Students (YNU Information Technology Service Center)

(2) Please **register** the courses **on the Educational Affairs Information System (EAIS)** during the period of course registration.
You will not get grades unless you register in EAIS, even if you pre-register in YNU-LMS.

(3) Before registration, students make the Course Registration Plan in advance and get permission from the supervisor. Please submit **"Course Registration Plan" on YNU-LMS**.

2. Schedule

◎Spring Semester ★The period of system accessible are from 9:00 to 23:00.

Course Registration : **April 7 – 18, 2025**
Revisions to Registered Courses : **April 24 – 28, 2025**
*Be sure to check that you have registered correctly. No additional course registration will be allowed after this period.
Cancellation of Registered Courses : **May 12 – 16, 2025**
*The EAIS is not available, if there are some registration errors.

3. Course Registration Plan【Submitted each semester】

"Course Registration Plan" must be approved by your supervisor.
Please make the Course Registration Plan and submit it to the following:

▼Place to submit the Course Registration Plan (YNU-LMS)
Course Name : 【連絡専用】理工学系事務部教務課理工学府係[Zac0011]
Lecture Name: 履修計画書／Course Registration Plan
Period of Submission: April 7 – 21, 2025

* If you do not have any courses to take this semester, you do not have to submit it.
* In addition to revising or canceling course registration in the EAIS, it is also necessary to resubmit revised one by **May 19, 2025** for Fall Semester on YNU-LMS.

• Make sure a copy of the Course Registration Plan is taken for personal use, and keep it in a safe place.

4. Details for Course Registration

For further details, refer to the Course Completion Guidelines distributed separately.

▼The Website of Graduate School of Engineering Science > Current Students▼
https://www.fse.ynu.ac.jp/english/students/index.html
※URL of the Educational Affairs Information System website, "How to use the Educational Affairs Information System" and "User IDs and initial passwords for student ICT service" are posted on the above website.

大学院生）履修登録時の学生プロファイル入力

大学院生の皆さんが研究活動等を振り返るツールとして、**YNU 学生ポートフォリオ**を導入しました。新学期、学務情報システムから履修登録する際、 YNU 学生ポートフォリオにある**学生プロファイル**に入力していただきます。

学生プロファイルでは、春学期は**研究・生活行動**を自己チェックし、秋学期は**就業力**（社会に出てから必要な汎用スキル）を自己チェックします。自分の研究活動を見直したり、進路選択の際に利用できます。皆さんの大学院生活をより有意義なものにするツールとして活用してください。

2025年 3月

副学長（教育・国際担当）田名部　元成

履修登録の際、履修登録画面に進む前に、下記の通り学生プロファイルへの入力が必要になります（入力を済ませないと、履修登録ができません）。**入力には30分くらい時間がかかります**。**3/26(水)から**、土日を含め学外からも入力できます。なるべく**4/11（金）まで**（履修科目の確定前）に、入力を済ませてください。（詳細は次頁参照）

■ 学生プロファイル：春学期の入力項目

① 緊急連絡先	緊急連絡用にメールアドレスと住所を入力します。なお、変更が生じた際は、随時更新してください。
② 研究・生活行動自己チェックシート	前学期の研究活動や日常生活について、意識や行動を自分自身で確認するためのチェックシートです。この自己チェックを踏まえて、新学期の研究活動や日常生活のありかたを考えていただくのが目的です。 なお、皆さんが回答した内容は匿名で統計処理され、今後の教育改善の基礎資料としても活用します。皆さんの成績評価には影響しませんし、個人データとして公表することはありませんので、正直に回答してください。

■ 学生プロファイル：秋学期の入力項目

① 緊急連絡先	緊急連絡用にメールアドレスと住所を入力します。なお、変更が生じた際は、随時更新してください。
② 就業力自己チェックシート	自分の就業力（社会に出てから必要になる汎用スキル）を簡単に自己チェックできるシートです。回答結果はグラフ表示され、過去の回答結果も参照できます。定期的に自己チェックすることで、自分の強み、弱みを確認したり、今後の学業や学生生活において、どこを伸ばし、改善すべきなのか、考える材料にできます。

学生プロファイルの入力～履修登録の手順

所要時間は**約30分**ですので、入力の際は十分な時間を確保してください。
3/26から、土日を含め学外からも入力できます。 なるべく**4/11まで**（履修科目の確定前）に、学務情報システム＞履修登録にアクセスして、入力を済ませてください。

1. 学務情報システムのログインページよりアクセスしてください。

2. ①「履修・成績情報」を押し、②次に「履修登録」を押してください。

学生プロファイル機能は、ログイン後の「履修登録」ボタンを押した際に入力画面に転送されます。学生プロファイルの入力が完了した後に、履修登録画面に転送されます。

3. 新学期に初めてアクセスする際：学生ポートフォリオの入力

① 緊急連絡先（メールアドレスと住所）を記入
登録内容を確認・編集し、「次へ進む」ボタンを押すと②に進みます。

② 研究･生活行動自己チェックシートに回答
回答を完了したら、 「次へ進む」ボタンを押すと履修登録画面に進みます。

➔ 履修科目が決まっているときは、履修登録を済ませます。

➔ 後日履修登録する場合は、ログアウトします。

後日：学生ポートフォリオにアクセスする

学務情報システムにログインし、「ポートフォリオ」ボタンを押すと、アクセスできますので、自由に活用してください。

➔ 「就業力自己チェック」の結果を確認できます。

入力トラブルの際の問い合せ先：学務・国際戦略部 教育企画課（学生センター 2階）

Graduates) How to Fill out Student Profile at Course Registration

we have introduced the **YNU student portfolio** for graduates as a tool to help you look back on your research and other activities. In registering for courses for the new semester on the Educational Affairs Information System, you are asked to fill out a **student profile** in your YNU student portfolio.

In the student profile, you are expected to self-check your **Research and Lifestyle** during the spring semester and **Generic Skill** (versatile skills required for a working environment) during the fall semester. The profile can be used to review your research activities and as a reference when you are making career choices. We hope that you can use it as a tool to make your life at the graduate school more fruitful.

March 2025
Vice President (Education and Global)
Motonari Tanabu

To register for courses, you must complete the following student profile before you move to the course registration screen. (Filling out the student profile allows you to register for courses.) **It will take approximately half hour to complete the student profile**. The System will be available **from Wednesday, March 26**, and make sure to complete it **during April 11** (before your course subjects are determined). For details, please refer to the next page.

■ **Student Profile：Items to enter for spring semester**

(1) Emergency contact information	Enter your email address and physical address as your emergency contact information. Please make sure to keep them up to date.
(2) Research and Lifestyle Self-check Sheet	This sheet is designed for you to self-check your awareness and behavior about your research activities and daily life in the last semester. Its purpose is to make you consider how to conduct your research activities and daily life in the new semester based on the self-check. Your answers are statistically processed anonymously and will be used as basic data for improving our education. We will neither use the result for your grading nor publish personal data, so please fill it honestly.

■ **Student Profile：Items to enter for fall semester**

(1) Emergency contact information	Enter your email address and physical address as your emergency contact information. Please make sure to keep them up to date.
(2) Generic Skill self-check sheet	This sheet is designed for you to quickly self-check your Generic Skill (versatile skills required for a working environment). Results are shown in graphs. You can also access your past results. A regular self-check will not only help you identify your strengths and weaknesses but also provide hints and tips to identify which areas of your abilities need further development or improvement to build your future academic career or enrich your campus life.

Student Profile: Course Registration Procedure

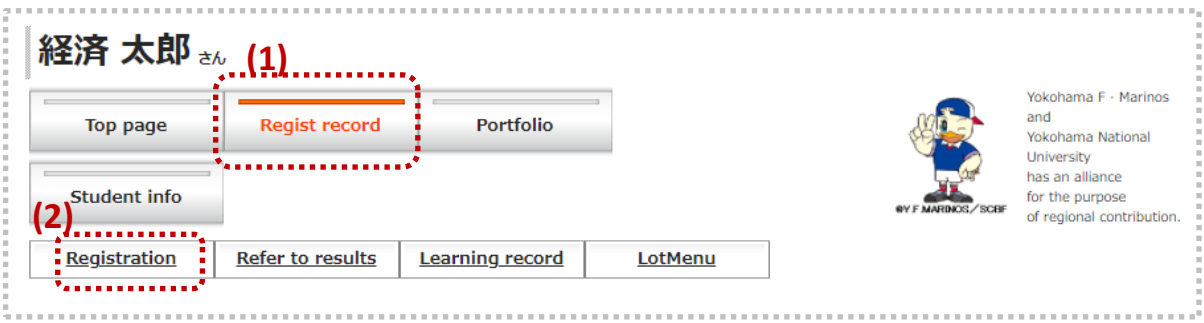
The student profile requires **approximately half hour** to complete. Please ensure that enough time is set aside to complete it.

You can enter data in your student profile from March 26. Please complete **it during April 11** (before your course subjects are determined) by accessing Course Registration on the Educational Affairs Information System.

1. Access from the log-in screen on the Educational Affairs Information System.

2. Click (1) Regist Record, then click (2) Registration.

Log in and click Registration to transfer the student profile function to the input screen. When the student profile is completed, the registration screen opens.



3. When accessing for the first time in the new semester: filling in the student portfolio

(1) Enter your emergency contact information (your email and physical addresses)
Check and edit your registration, then click Continue to go to (2).

(2) Answer the Research and Lifestyle self-check sheet.
Fill it in and click Continue to open the course registration screen.

➔ If your course subjects are determined, register for them.

➔ If you wish to register for them later, log out.

How to access to your student portfolio later

To access your student portfolio, log in to the Educational Affairs Information System and click Portfolio. You can use the portfolio for an array of opportunities.

➔ You can review the results for Employability Self-check there.

For queries on data entry, contact the Educational Affairs Division, Student Affairs and International Strategy Department (2nd floor, Student Center)

「研究指導計画書・研究計画書」について

研究指導計画書・研究計画書を年度ごとに作成し、理工学府係へ提出してください。
各学年において、履修・研究計画の遂行に専念し、年次ごとにその進捗状況を指導教員とよく話し合ってください。【各年度提出】

作成方法：指導教員と充分な打ち合わせの上、作成してください。
先に「研究指導計画書」欄を指導教員に作成いただいてください。
上記「研究指導計画書」を踏まえ、「研究計画書」欄を作成してください。

提出期限：原則、各年度の 4 月末日（10 月入学の場合は、10 月末日）

提出場所：授業支援システム（様式データも下記からダウンロードできます）
講義名：【連絡専用】理工学系事務部教務課理工学府係[Zac0011]
授業名：研究指導計画書・研究計画書／Research Guidance Plan and Research Plan

“Research Guidance Plan and Research Plan”

Student should make the research plan for each academic year and submit to Graduate School of Engineering Science. The progress of the plan must be discussed with the academic advisor in each academic year. 【Submit each academic year】

How to create：
Create after sufficient discussion with the supervisor
1. Supervisor creates the “Research Guidance Plan” column
2. Student creates the “Research Plan” column based on the “Research Guidance Plan” above

Deadline：
In principle, the end of April of each year (in the case of enrollment in October, the end of October)

Submission place：
YNU Learning Management System (YNU-LMS)
Course name：【連絡専用】理工学系事務部教務課理工学府係[Zac0011]
Lecture name：研究指導計画書・研究計画書／Research Guidance Plan and Research Plan

XXXX年度（春学期 ・ 学期） 履修計画書

XXXX Academic Year (Spring / Fall Semester) Course Registration Plan

指導教員名 Supervisor's Name	承認日Date

提出日　　年　　月　　日

Date of Submission: _____/_____/_____

博士課程（ 前期 ・後期 ）（PED・TED・PSD・理学） プログラム Degree Program (Master / Doctor) Education Program (PED/TED/PSD/Science)	学籍 Student ID No.
専攻 Department	氏名 Name
コース・教育分野 Specialization	

・（ ）はいずれか一方に〇印をしてください。
Circle the relevant selection within the parenthesis.

〇 履修計画 Course Registration Plan

記載した科目は、学務情報システムから登録してください。通年科目は春学期に登録してください。
Register the courses listed in the Educational Affairs System. Year-long courses should be registered in [Spring Semester].

科目区分 ※ Course Type *	授業科目名 Course Name	担当教員 Instructor

※博士前期 ：学府共通科目、専攻共通科目、専門科目、スタジオ科目（PED）、モジュール構成科目（PED）、その他
＊ Master's programs: Core courses, Major courses, Specialized courses, Studio courses, Module courses, and the Others.

※博士後期 ：空　で構いません。
*Doctoral programs: Please leave blank.

XXXX 年度　研究指導計画書・研究計画書【大学院理工学府】

Research Guidance Plan and Research Plan【Graduate School of Engineering Science】in XXXX

日付　年　月　日
Date　yyyy　mm　dd

入学月 Enrollment month		学籍番号 Student ID No.	
専攻 Department		フリガナ Furigana	
教育分野 Specialization		氏名 Name	
研究題目 Title of research			
期間 Period	年　月　～　年　月 yyyy　mm　yyyy　mm		

研究指導計画書（指導教員は、学生に対して、この欄を使用し、研究指導の方法及び内容並びに一年間の研究指導の計画をあらかじめ明示する）Research Guidance Plan(filled in by Supervisor)	
指導教員 Supervisor	

研究計画書（教員の研究指導計画書を踏まえ、学生が計画を作成する。） Research Plan (to be filled in by students)

本学理工学部在籍中に
大学院理工学府の科目を履修した学生へ

本学理工学部在学中に大学院理工学府の科目を履修した学生は、単位認定を希望する場合は、以下のとおり申請してください。

単位認定申請方法

「先取履修科目の単位認定申請書」に必要事項を記入の上、授業支援システムで提出してください。
申請書様式は授業支援システムからダウンロードできます。

● 申請期間
４月７日（月）～18 日（金）

●申請先：以下 Form より申請してください。
https://forms.office.com/r/ktfGtnnmdN
この Form は YNU アドレス(ynu.jp)でのみ回答できます。

【理工学府】先取履修科目の単位認定申請（2025年度進入生向け）

※申請期間内に申請しない場合は、単位認定されません。

※期間後の申請は受け付けません。

・単位認定が承認された科目は、１０月上旬に成績表（成績証明書、学務情報システム）に反映されます。

・「認定」された単位は GPA の計算対象外となります。

理工学府係

大学院理工学府　インターンシップ報告書
Graduate School of Engineering Science Internship Report

この報告書は理工学府の授業科目としてインターンシップを行う際、インターンシップ実施後に履修登録する場合は履修登録時に、実施前に履修登録する場合は実施後に理工学府係へ提出してください。
To take part in internship as a course of the Graduate School of Engineering Science, it is necessary to submit this Internship Report to the Graduate School of Engineering Science Section, at the time of course registration when the course is registered after implementation of the internship, and after implementation of the internship when the course is registered prior to implementation.

授業支援システムで提出してください。
提出場所および報告書様式掲載場所
講義名：【連絡専用】理工学系事務部教務課理工学府係[Zac0011]
授業名：インターンシップ報告書/ Internship Report

Please submit this report by YNU-LMS.
Course Name: 【連絡専用】理工学系事務部教務課理工学府係[Zac0011]
Lecture Name: インターンシップ報告書/ Internship Report

課程（前期/後期） Program (Doctoral or Master's)					生の場合は右　に○ a "○" in the right column if you an international student.		
専攻・教育分野・プログラム(TED/PED/PSD/理学) Department/Specialization/Program (TED/PED/PSD/Science)					分 ciali n		プログラム Program
学籍 Student No.		フリガナ 氏名 Name			指導教員 Supervisor		
履修科目 Course	時間割コード Course Code				単位数 Number of Credits		
	科目名 Course Name						
PEDの学生でスタジオ代替する場合 Substitution with A Studio Course (PED Student)	代替科目の時間割コード Substitute Course Code				代替単位数 Number of Substitute Credits		
	代替科目名 Substitute Course Name						
期　間 Period		～					
実習内容 Description							
国内/海外（いずれかに○） In Japan/Overseas (Circle the applicable)		国内 In Japan		海外 【※1】 Overseas [*1]		方（国内　海外【※1】） Both (In Japan + Overseas [*1])	
インターンシップ先情報 Place of Internship	機関名・実習部　名 Name of Organization/Department						
	分類（いずれかに○） Category (Circle the applicable)	営利企業 Profit-making Company		非営利企業 Non-profit Company		教育・研究機関 Educational/Research Institution	
インターンシップ先住所 Address of Place of Internship							
国内の場合 In Japan	都　府県 Prefecture						
	都　府県以下 Address						
海外の場合 Overseas	国名 Name of Country						
	国名以下 Address						
海外の場合　ビザの種類（いずれかに○） Overseas: Type of Visa (Circle the applicable)		なし No Visa		Tourist		学生 Student	
		その他 Others	具体的に Specify it（　　）				
報　（いずれかに○） Compensation (Circle the applicable)	報　無 With or Without Pay	With		無 Without		していない Not Sure	
	報　内 Breakdown	実　交通 Actual Cost/Travel Cost		金 報 Wage/Compensation		方（実　交通　金 報） Both (Actual Cost/Travel Cost and Wage/Compensation)	
保　加入状　（わかる範囲で加入しているものに○） State of Insurance (Circle the applicable, as far as you can tell)							
学生個人で加入 Taken out personally by the student	保 Disaster and accident insurance		大学が加入 Taken out by the University		保 Disaster and accident insurance		
	保 Liability insurance				保 Liability insurance		
	保 Health insurance				保 Health insurance		
	生命保 Life insurance				生命保 Life insurance		
インターンシップ先が加入 Taken out by the provider of the internship	保 Disaster and accident insurance		していない Not sure				
	保 Liability insurance						
	保 Workers' compensation insurance						
	その他 Others						

※1：海外の場合は、授業支援システム内に掲示している「海外渡航時の手続きについて」も　せて確認してください。
When the internship takes place abroad, please also confirm "Procedures for overseas travel" in YNU-LMS.

これに加え、3　月　満の　在は、外務　海外　行登録「たびレジ」へ、3　月以上の　在は在留届電子届出システム「外務　ORRnet」へ登録してください。
In addition, each stay of shorter than 3 months and stay of no shorter than 3 months should be registered with the "Tabi- Regi (Travel Register)" system and with the ORRnet (Overseas Residential Registration) system of the Ministry of Foreign Affairs of Japan, respectively. (https://www.ezairyu.mofa.go.jp/

以下記入　について、一つの「セル」で　行したい場合は、[Alt]キーを　しながら、[Enter]キーを　し　行してください。
To begin a new line in the same cell below, press [Enter] while holding [Alt].

受入機関（企業・　体・大学等）・部　の概要 Outline of the Host Organization (Company, Organization, University, etc.) and Department

実習内容（具体的に） Description of the Internship (In specific terms)

実習の成果、感想、自分の研究　び今後の進路へ向けて参考になったこと Outcomes of, and Comments about, the Internship, and How It Can Help You with Your Research and Future Career

自己評価と総 Self-evaluation and Summary

この個人情報は、実習内容の　　び関連する調査　計にのみ　用し、その他の目的には　用しません。
This personal information will be used only for collecting information about the internship and conducting related statistical analysis and will not be used for any other purposes.

大学院生の学術論文への貢献について

理工学府長　竹村　泰司

大学院生　各位

新たに大学院生となった皆さん，入学おめでとうございます．これから勉学ならびに研究に励み，充実した学生生活を送ることを祈念します．また進学した皆さんには，さらに充実した研究を行い，修了までに素晴らしい成果を上げると共に，研究者として大きく成長することを期待します．

近年，グローバル化に伴って，世界中の国々が世界を相手に活動することが求められるようになりました．そのような状況下では，個人の経歴や能力を示す共通指標として，学位の重要性がますます高まっています．重要な研究成果を上げたことに対して授与される博士号や修士号は，将来にわたり，皆さんの活動を支える重要な称号となるはずです．修了に向けて，精一杯頑張ってください．

さて，皆さんもご存知のように，学術的な研究は，単に自らがそれを行っただけで完結するものではありません．その目的，過程，結果，考察をまとめた学術論文を権威ある学術ジャーナルに発表することで，初めて国内外に正しく認知され，個人の業績となります．またこのことが公的資金を用いた研究の社会還元の一つとなります．このような学術論文は，単に投稿すれば載るというものではなく，匿名の査読者による厳しい審査をパスすることで初めて掲載されます．博士課程後期の学生は，学位を取得するために，学位論文の執筆に加え，その内容を裏付ける学術論文の執筆，投稿，掲載が求められます．博士課程前期の学生もこれに準じ，同様の学術論文の執筆，もしくはこれに貢献することが望まれます．特に，上記のようなグローバル化が進む現代にあって，その価値は以前にも増して高まっており，学生個人の評価，ひいては大学全体の評価にもつながっています．

以上のような背景から，工学府の博士課程前期では平成 29 年度より，学術論文を発表，もしくはこれに貢献した学生を，修了時に特に顕彰することとしました．理工学府でも継続します．さらに，学業優秀者表彰，日本学生支援機構大学院第一種奨学金返還免除などの評価においても，これを最重要評価項目としています．

以上

横浜国立大学 大学院　副専攻プログラム

地域創造科目

Yokohama National University　Graduate sub-major program

Creative education program about local problems

シラバス 2025

2025 Syllabus

YOKOHAMA

最新の詳細情報は下記サイトをご確認ください。
https://www.chiki-ct.info/sozo

オリエンテーション
4月14日（月曜）
12:10-12:50

場所：建築学棟(N5-3棟）1F 大会議室

修了者からのメッセージ

Kota OGAWA
小川 康太

環境情報学府 情報環境専攻
情報学プログラム　修了

野村総合研究所　就職

●コア科目：　地域創造論
●専門型関連科目：神奈川の取り組む技術課題
社会老年学 I
社会老年学 II
●実践型関連科目：地域課題実習
（転倒しない街共創ラボ「こらぼ」）

私は地域課題実習をきっかけに，地域創造科目を履修しました．参画した地域課題実習では，転びやすさを定量化する技術を用いた「誰もが転倒しないまちづくり」を目標にしており，主専攻だけでは学べない高齢者の社会状況やまちづくりの考え方を専門に学びたいという想いがありました．

地域創造科目では，先生との双方向授業に加え，異なる専門分野の学生との議論を通して，多角的な視点や実践的な知識を得られました．履修したことにより，地域課題実習への還元のほか，主専攻の研究における意義やニーズに対する深い理解やモチベーションの向上に繋がりました．

これにより地域に出ることに対する抵抗感が減り，学内外での活動が増えたことで，貴重な経験を数多く得ることができました．地域社会に貢献したい方や新たな視点を得たい方におすすめです．

ブックレット

HP（http://chiki-ct.info）からダウンロードできます．

地域創造論 Vol.3
～地域はどう変わるか　2010 年代から2020 年代に向かって～

大学院の副専攻プログラムのコア科目として開講されている「地域創造論」の、2018年から2020年度のテーマは、「地域はどう変わるか　2010 年代から2020 年代に向かって」でした。本著は、その講義録をまとめたものです。

政策科学と政策形成 小池 治 / 持続可能な都市とモビリティシステム ー COI プログラムによる横浜国立大学の取り組みー　有吉 亮・西岡 隆暢 / 都市におけるエネルギーリテラシー 澁谷 忠弘 / フラットで双方向的な世界へ：「地域間協力（連携）」の構想と取り組み 佐藤 峰・奥井 利幸 / 震災とコミュニティー大熊町を事例としてー 吉原 直樹 / SDGs 未来都市・横浜の挑戦と “ヨコハマ SDGs デザインセンター” のこれから 信時 正人 / 2035 年に当たり前に木材のある社会を目指して 井上 博成 / 2020 年代に向けた大学と地域～羽沢横浜国大駅開業を前に 高見沢 実 / 2020 年代に向けたヘリテージマネジメントの課題 大野 敏 / 地域創造と EBPM～森林の多面的機能を事例に～ 小池 治 / SDGs 達成に向けた県の施策形成 清木 信宏 / 地域経済とまちづくり（ディスカッション）氏川 恵次・池島 祥文・伊集 守直・志村 真紀 / モビリティ～Maas＋デジタル化による地域像＋コロナ～ 中村 文彦 / エネルギー環境と都市（ディスカッション）吉田 聡・野原 卓・田中 稲子 / 新型コロナと都市計画：「新近郊」論に向かって ～新型コロナ感染後の新たな社会を展望する～ 高見沢 実

『地域創造科目』の概要

全体概念

現代社会において、経済格差や教育格差の拡大、工業倫理の低下や環境問題の深刻化など、住民生活の継続や地域社会の存続に支障をきたし始めています。これらの諸課題は複雑に関連しつつ、事態を深刻化させていることから、社会、教育、工学、環境など各視点から諸課題を検討し、人々が安心して豊かな生活を営めるような地域を創造することが求められています。

本プログラムは、複雑で解決困難な地域課題に対して、各専門領域に基盤を持ち理論的に問題を捉えながらも、学際的な課題把握能力を有し、かつ総合的に解決できるような人材を育成するための高度な教育プログラムです。

General overview

In modern society, issues such as the increase of economical and education gaps, decrease in industrial ethics and intensification of environmental problems are beginning to interfere with the sustainability of local residents' lifestyles and continued existence of the local community. These various issues are complexly interwoven with one another, intensifying the situation and as such, need to be investigated from individual aspects such as society, education, engineering, the environment and so forth, in order to create a community in which people can lead rich lives with peace-of-mind.

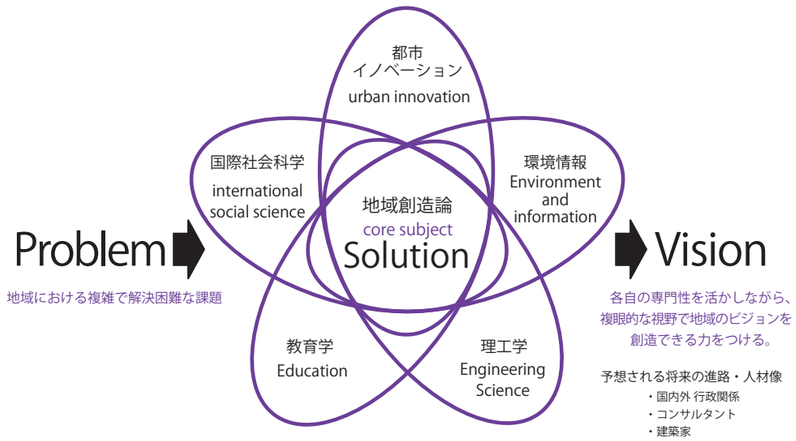
Towards complex, intractable community issues, this program takes a theoretical approach from the individual fields of expertise, and is a sophisticated educational program which aims to produce individuals who possess the ability to appraise issues from an interdisciplinary approach and propose comprehensive solutions.

＊副専攻プログラムとは：

知識基盤社会が求める総合性・学際性への対応、また学生からのニーズへの対応として、自ら所属する専攻以外の分野を系統的に学習するプログラムです。

＊About sub-major program:

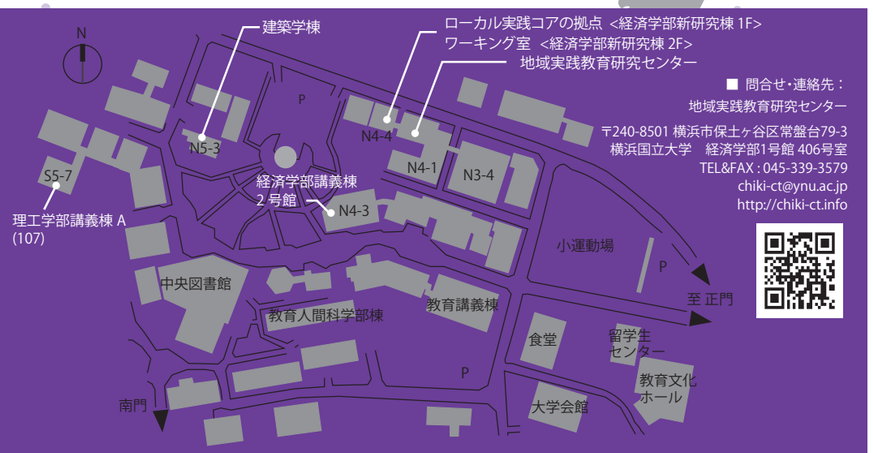
Responding to the comprehensive and interdisciplinary abilities sought by a knowledge-based society as well as responding students' needs, this program enables the systematic learning of fields other than one's own affiliated major.



複雑で解決困難な地域課題を題材に

各専門分野の活かし方を発見し開拓するプログラム

This program trains students to find and develop their own specialties in the local subject in which solutions are complicated and difficult.



■ 問合せ・連絡先：
地域実践教育研究センター
〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-3
横浜国立大学　経済学部1号館 406号室
TEL&FAX : 045-339-3579
chiki-ct@ynu.ac.jp
http://chiki-ct.info

横浜国立大学　地域連携推進機構　地域実践教育研究センター
Yokohama National University
Organization for Local Collaboration Networking　Global-Local Education and Research Center

「履修申請の流れ」

「オリエンテーション」

4月14日（月）12:10-12:50
対面：建築学棟(N5-3棟）1F 大会議室

地域創造科目の説明・相談を行います。
履修する予定の人、関心・質問がある人は参加して下さい。

詳しくは下記サイトの情報をご確認ください。
https://www.chiki-ct.info/sozo

「履修登録」

・必修コア科目「地域創造論」
・関連科目（各自が在籍する学府・研究科の開講科目から基本的には選択する。*注）

*注：関連科目の履修にあたり、提供形態①の科目については、当該科目担当教員の許可は必要ありません。（ただし、履修者が多い場合は制限する可能性があります。なお、自分が所属する学府・研究科以外の科目を履修する場合は、所属する学府・研究科での手続きが必要な場合があります。（履修案内等で確認してください。）

地域創造科目「参画登録申請」フォームへの申請

参画登録申請書

申請書〆切：４月7~25日 or 10月1~24日

☆副専攻プログラムとして受講し、修了認定を得る場合には、地域創造論が始まる前に下記の申請が必要です。

「参画登録申請」フォームについては、
下記の地域実践センターのWEBサイトにリンクされています。
https://www.chiki-ct.info/sozo

「地域創造科目」 8単位以上

『地域創造科目』は、「参画登録申請」を申請した者を対象に、下記の修了要件を満たした者に対して、修了認定が行なわれます。
修了要件：①必修コア科目「地域創造論」2単位、②「関連科目」の「専門型関連科目」2科目以上4単位以上、および「実践型関連科目」1科目以上2単位以上、これらの合計8単位以上。

必修コア科目
地域創造論
1科目2単位
＊重複不可

＋

関連科目
専門型関連科目
2科目4単位以上
実践型関連科目
1科目2単位以上

➡

修了認定
副専攻プログラム
地域創造

・主専攻のカリキュラムに掲載されている副専攻科目は主専攻の卒業要件に含むことができます．ただし都市イノベーション学府の学生が「地域創造論」を本副専攻の科目として履修した場合は主専攻の卒業要件に含むことができません．
★ 都市イノベーション学府の学生：修了必要単位 30単位+2単位（地域創造論）=計32単位の取得が必要です。
☆ 都市イノベーション学府以外の学生：各学府・研究科の修了必要単位の中に地域創造論2単位を含めてください。

「修了認定」

- **副専攻の修了認定は「参画登録申請」を申請した方を対象に、修士課程2年の修了時に修了認定がされます。**
- 必要単位の取得状況は、修了式前の時期に事務局が学務を通じて確認します。
- 短縮卒業や留年後の卒業、長期履修制度による卒業など、卒業時期が通常と異なる場合には卒業3ヶ月前までに地域実践教育研究センターにお知らせください.
- **成績証明書の特記事項欄には「副専攻プログラム（地域創造）修了」と記載されます。**

・実践型関連科目を「その他」の「独自に参画する実践性の高い活動」で単位認定を受ける場合は、（様式2)地域創造科目 実践型関連科目「その他」認定申請書と、活動内容について記した「レポート（A4版1枚ほど）」の提出が必要です。様式2の申請書はWEBサイトからダウンロードしてください。

レポートの提出 〆切：8/22（9月修了の場合）
2/13（3月修了の場合）
*提出先：地域実践教育研究センター（chiki-ct@ynu.ac.jp)

コア科目「地域創造論」

＊秋学期に開講
月曜日４限
場所：建築学棟 (N5-3 棟）8F スタジオ

1. 授業の目的

複雑で解決困難な地域課題を創造的に解決する方法を開拓する。
地域創造学を既往の学問領域の中で位置づけたうえ、本講義の構成・内容、およびグループワークの方法等につき解説する。これを受けて、各専門領域から現代の地域課題をどうとらえているか、また、その解決に向けたアプローチや考え方はいかなるものか等につき、事例や先進的試み等を織り交ぜながら講義する。その後、専門の違う者同士でグループを組み、与えられた地域課題をめぐって現地スタディー、データ分析、ディスカッション等を行う。成果は最終回に発表し、総合討議を行なう。

2. 授業の構成

地域創造学と既往の学問領域のおおよその位置づけを知る

イントロダクション：地域創造学の規範と専門領域との関係、テーマ設定

▼

各専門領域から捉えた地域課題と その解決に向けた多様なアプローチや考え方を知る・探る

各専門領域の教員等による講義
社会科学、自然科学等の各専門分野から、設定された共通の地域課題をテーマに関連する最新の話題を提供。

討論
受講生の現状の各見地から発言、各専門知の存在に気づく。

▼

地域創造に向けた専門知の活かし方に気づく・探る

グループワーク
学生間で学際的なグループをつくり、各自の専門性を活かしながら、地域のビジョンを創造し議論を行う。

最終レポート
自らの専門知や他の専門知を活かして設定課題をどう解くかを論述。

総合討論
最終レポートに基づき互いの専門知の活かし方や接点を探る。

講義の様子

グループワークの様子

休講あるいは閉講の科目

部局	時間割コード	科目名	単位数	教員名	開講学期	曜日	時限	教室／開催方法	提供形態	カテゴリ	備考/学環時間割コード
国社	PC11024	開発協力論研究 II	2	小林 誉明	秋期（第4,5）	火	4		①	専	R7年度休講（偶数年度開講）
	PC11525	開発協力論研究 III	2	小林 誉明	秋期（第4,5）	木	3		①	専	科目廃止
環境	H220434	社会老年学 I	1	安藤 孝敏	第4ターム	月	2	総S511	①	専	教員退職に伴い廃止
	H220465	社会老年学 II	1	安藤 孝敏	第5ターム	月	2	総S511	①	専	教員退職に伴い廃止
	H320115	外来生物問題を解決するモデルと社会	1	小池 文人	第5ターム	木	4	環1-301	①	専	教員退職に伴い廃止
都市	RB00214	地域計画論	2	松行 美帆子	春期（第1,2）	水	2	工A-302	①	専	H31/R1年度以前入学者対象（新科目コード：RB00031）
	RB00204	途上地域発展論	2	佐藤 峰	秋期（第4,5）	火	3	建築学棟8階小スタジオ	①	専	担当教員 奇数年度：佐藤、偶数年度：藤掛/R7:不開講

つづき

「地域創造科目」一覧

・カテゴリー：必＝必修科目 / 専＝専門型関連科目 / 実＝実践型関連科目
・提供形態：①すべての大学院学生が履修可能な授業科目 / ②すべての大学院学生が履修可能な授業科目であるが、履修するための前提条件が付された授業科目 / ③所属大学院学生のみが履修可能な授業科目

部局	時間割コード	科目名	単位数	教員名	開講学期	曜日	時限	教室／開催方法	提供形態	カテゴリ	備考/学環時間割コード
大学院全学教育科目	9GC2101	地域創造論	2	志村 真紀 他	秋期（第4,5）	月	4	建築8F南北スタジオ	①	必	
	RC00060	地域創造論	2	志村 真紀 他	秋期（第4,5）	月	4	建築8F南北スタジオ	①	必	
	UC07008	地域創造論	2	志村 真紀 他	秋期（第4,5）	月	4	建築8F南北スタジオ	①	必	
	9GC1101	統合的海洋管理学 I	2	鈴木 崇之 他	春期（第1,2）	月	4	環1-315	①	専	学部4年次履修可
	9GC1102	統合的海洋管理学 II	2	鈴木 崇之 他	秋期（第4,5）	月	4	環1-315	①	専	
	9GC1201	沿岸域管理の法制度	2	加々美 康彦	春期集中	集中		遠隔	①	専	
	9GC1202	海洋政策と法制特論	2	中原 裕幸	秋期（第4,5）	水	4	済202	①	専	
	9GN1201	リスクベースによる規則制定手法	2	吉田 公一 他	秋期（第4,5）	金	4	工A-306	①	専	学部4年次履修可 理工学府/先進実践学環で別コード
	NA30114	リスクベースによる規則制定手法	2	吉田 公一 他	秋期（第4,5）	金	4	工A-306	①	専	
	UC05023	リスクベースによる規則制定手法 I	1	岡田 哲男 他	第4ターム	金	4	工A-306	①	専	
	UC05024	リスクベースによる規則制定手法 II	1	岡田 哲男 他	第5ターム	金	4	工A-306	①	専	
	9GN1202	海洋産業特論	2	田村 兼吉	春期（第1,2）	火	4	海洋302	①	専	学部4年次履修可
	NA30121	海洋産業特論	2	田村 兼吉	春期（第1,2）	火	4	海洋302	①	専	
	9GC3201	神奈川県の取り組む技術課題	2	為近 恵美	秋期（第4,5）	水	3	工A-101	②	専	神奈川県の…」は、理系の素養があることを前提
	N000171	神奈川県の取り組む技術課題	2	為近 恵美	秋期（第4,5）	水	3	工A-101	②	専	
	UC12015	神奈川県の取り組む技術課題	2	為近 恵美	秋期（第4,5）	水	3	工A-101	②	専	
	9GC4101	リスクマネジメントと社会技術	2	竹花 立美 他	秋期（第4,5）	金	4	環境1-305	①	専	
	9GC4201	リスク社会とコミュニケーション	2	熊崎 美枝子	春期（第1,2）	集中		併用（対面系）	①	専	
	9GP0201	地域経済政策特論	2	居城 琢	秋期（第4,5）	水	2	教室未定	①	専	
	PAB4015	地域経済政策特論	2	居城 琢	秋期（第4,5）	水	2	教室未定	①	専	
	UC08034	地域経済政策特論	2	居城 琢	秋期（第4,5）	水	2	教室未定	①	専	
教育	AX63037	英語科の教材デザイン論と実践	2	髙瀬 祐子 他	第4ターム	水	6~7	1-206	③	専	教職大学院所属学生のみ履修可
	AX61004	総合的な学習の理念とカリキュラム	2	金馬 国晴	第4ターム	不定期		2-214	③	専	
	AX15001	特別支援教育コーディネーターの役割と課題	2	軍司 敦子 他	第4ターム	月	1~2	デ-206	③	専	
国際社会科学	PAB4012	地方財政学	2	伊集 守直	春期（第1,2）	火	3		①	専	UC08029、UC08030
	PAB4019	農業政策特論	2	池島 祥文	秋期（第4,5）	火	2		①	専	UC08040
	PC12108	民事訴訟法特論	2	岡庭幹司	秋期（第4,5）	火	3		①	専	UC10009、UC10010
	PC12520	倒産・執行法研究 I	2	岡庭幹司	春期（第1,2）	火	3		①	専	UC10011、UC10012
	PB22006	生態会計特論	2	曹 勁	秋期（第4,5）	火	5		③	専	UC04001、UC04002
	PC11023	開発協力論研究 I	2	小林 誉明	春期（第1,2）	火	4		①	専	学環提供取止R5から
	ー	演習 I a（対象は特定教員のゼミ）	2	氏川, 伊集, 池島, 居城, 国際政治経済ゼミ					③	実	学府の許可する学生のみ受講可能とする
	ー	演習 I b（対象は特定教員のゼミ）	2	国際政治経済ゼミ					③	実	
理工	NB20151	リスク分析論	2	陶山 貴市 他	春期（第1,2）	火	3	教室未定	①	専	
	NB10031	触媒化学	2	窪田 好浩	秋期（第4,5）	木	5	教室未定	③	専	偶数年度開講→奇数年度開講
	NB20114	エネルギーバリューチェーンシステム概論	2	麦倉 良啓	秋期（第4,5）	金	1	エネ501	①	専	
環境情報	H320331	環境法 I	1	及川 敬貴	第1ターム	月	2	都市202（調整中）	①	専	UC06017
	H220621	地域政治経済システム論	1	遠藤 聡	第1ターム	火	2	総S512-3	①	専	UC08095
	H220634	地域発展政策論	1	遠藤 聡	第2ターム	火	2	総S512-3	①	専	UC08096
	H320072	ユネスコエコパークや関連制度を活用した環境共生型地域の創出	1	酒井 暁子	第2ターム	水	2	工A-102	①	専	UC04028
	H220011	ライフサイクルアセスメント I	1	本藤 祐樹	第4ターム	木	2	総S511	①	専	
	H220052	ライフサイクルアセスメント II	1	本藤 祐樹	第5ターム	木	2	総S511	①	専	
	ー	人工環境演習 I～IV	1	遠藤 聡、本藤 祐樹					③	実	学府の許可する学生のみ受講可能とする
	ー	自然環境演習 I～IV	1	下出・及川・佐々木					③	実	
	ー	情報環境演習 I～IV	1	島 圭介					③	実	
都市イノベーション	RC00041	都市居住環境論	2	野原 卓 他	秋期（第4,5）	水	1	都市206	①	専	UC07007
	RA00033	持続型集住計画論	2	藤岡 泰寛	春期（第1,2）	金	2	建築8F南北スタジオ	①	専	UC07017
	RC00061	越境社会と地域	2	長谷川 健治	秋期（第4,5）	水	4	国際教育106	①	専	UC12016、UC12017
	RC00051	グリーンビルディング・コミュニティ計画論	2	田中 稲子 他	秋期（第4,5）	木(隔週)	5~6	都市204	③	専	UC07009
	RB00031	地域計画論	2	松行 美帆子	春期（第1,2）	水	2	工A-302	①	専	R2年度以降入学者対象
	RB00015	都市基盤政策論	2	安部 遼祐	春期（第1,2）	木	3	工A-302	①	専	R3年度以前入学者対象
	RB00033	都市交通計画論	2	安部 遼祐	春期（第1,2）	木	3	工A-302	①	専	UC07026
	RD00014	日本社会史研究 I	1	多和田雅保	春期（第1）	火	6		①	専	UC11060
	RD00015	日本社会史研究 II	1	多和田雅保	春期（第2）	火	6		①	専	UC11061
	RD00019	日本地域史研究 I	1	多和田雅保	秋期（第1）	火	6		①	専	UC12011
	RD00020	日本地域史研究 II	1	多和田雅保	秋期（第2）	火	6		①	専	UC12012
	RD00018	神奈川県の漢詩漢文	1	高芝麻子	秋期（第4）	火	3		①	専	UC12010
	RD00022	人文地理学講義 I	1	池口明子	春期（第1）	月	1		①	専	UC11064
	RD00023	人文地理学講義 II	1	池口明子	春期（第2）	月	1		①	専	UC11065
	RPSJ205	環境都市デザインスタジオS	4	野原 卓 他	春期（第1,2）	火・金	3~4	工学基礎3F会議室	③	実	UC07019
	RPSJ203	建築理論スタジオS	4	大野 敏 他	春期（第1,2）	火・金	3~4	建築8Fスタジオ	③	実	UC07024
	RPSJ204	建築理論スタジオF	4	大野 敏 他	秋期（第4,5）	その他	3~4	建築8Fスタジオ	③	実	UC07025
	RPSJ225	都市基盤スタジオ2	2	細田 暁 他	春期（第1,2）	火	6	教員室／対面	③	実	
	RPSJ226	都市基盤スタジオ2	2	細田 暁 他	秋期（第4,5）	火	6	教員室／対面	③	実	
	RPSJ223	都市基盤スタジオ4	4	細田 暁 他	春期（第1,2）	火	6	教員室／対面	③	実	
	RPSJ224	都市基盤スタジオ4	4	細田 暁 他	秋期（第4,5）	火	6	教員室／対面	③	実	
その他		独自に参画する実践性の高い活動	(2)						①	実	※1

※１：独自に参画するボランティアや学部生向けの地域交流科目「地域課題実習」のプロジェクトのマネジメント等の実践性の高い活動については、審査の上、当プログラム上のみ独自認定（２単位相当）する。ただし、正規単位ではない。

2025年度 「イノベーションと課題発見Ⅰ」予定表

為近恵美/大塚和弘/周佐喜和/矢吹剣一/湯沢雅人

時間：春　月曜日　4,5限　14:40～17:45（途中5分休憩）　（2単位）　対面:理工C102

		前半(14:40～16:10)		後半(16:15～17:45)	課題
4月7日	第1回	研究者からの起業 ～夢の実現のために～ 講師:動物アレルギー検査(株)　増田 建一 氏	第2回	オリエンテーション イノベーションと課題発見	
4月14日	第3回	新しい顧客価値、新しい領域の共創のために ～富士フィルムの事例～ 講師:design MeME 小島 健嗣 氏	第4回	課題解決プロジェクト オリエンテーション 講師:マイナビ	グループ分け
4月21日	第5回	多様性を活かし創造を生む 「すり合わせ文化と日本型能力主義」 講師:(株)湧志創造　堂免 惠 氏	第6回	グループワーク ～テーマ提案検討～	
4月28日	第7回	半導体技術の深化がもたらした ビジネス環境の変化 講師:(株)アクセンチュア 清水 健 氏	第8回	変化の時代 ～直面する変化の本質とそのインパクト 講師:(一社)DeruQui　中川 郁夫 氏	
5月12日	第9回	生成AI、XR技術がもたらすイノベーション 講師:(株)NTT ExCパートナー 南 賢造 氏	第10回	グループワーク ～テーマ提案検討～	
5月19日	第11回	着想の源泉について 講師:一橋大学 イノベーション研究センター 吉岡(小林)徹 氏	第12回	課題解決プロジェクト 中間発表 講師:マイナビ	
5月26日	第13回	イノベーション概論 講師:オルバイオ㈱ 代表取締役 CEO 山口 栄一 氏	第14回	グループワーク ～最終提案作成～	
6月2日	第15回	発表・応募書類作成			発表

※講義の順序は、変更になる場合があります。
4/7(月)初回講義は参加必須です。出られない場合は、LMSのQ&Aから連絡を下さい。

2025年度 「イノベーションと課題発見Ⅱ」予定表

為近恵美/大塚和弘/周佐喜和/矢吹剣一/湯沢雅人

時間：春　月曜日　4,5限　14:40～17:45（途中5分休憩）　（2単位）　対面:理工C102

		前半(14:40～16:10)		後半(16:15～17:45)	課題
6月9日	第1回	【イントロダクション＆レクチャー】 事業と企業経営	第2回	【演習】 解決したい課題の発見 自分のミッションを考えてみる	自分のミッションを考える
6月16日	第3回	【ワークショップ】 社会に目を向け、新たなテーマを発掘する	第4回	【演習】 現状調査と分析 自分のミッションをビジネスの視点から考える	
6月23日	第5回	【レクチャー】 顧客への価値提供	第6回	【演習】 事業コンセプトの設定 問題意識と課題を解決するための価値の創出	
6月30日	第7回	【レクチャー】 企業における研究開発	第8回	【全体討論】 他者とのディスカッションを通して 多面的に考えを巡らせる	グループ討議を活かしながらビジネスプランを策定
7月7日	第9回	【演習】 ビジネスプランのブラッシュアップ① (与件整理～商品・サービスの具体化～デリバリー法)	第10回	【全体討論】 ビジネスプランに関するディスカッション①	
7月14日	第11回	【レクチャー】 事業化とは 講師:(株)TNP パートナーズ 呉 雅俊 氏	第12回	【発表】 ビジネスプラン中間発表	
7月28日	第13回	【演習】 ビジネスプランのブラッシュアップ② (ビジネスモデル(収益構造)検討～販売戦略)	第14回	【全体討論】 ビジネスプランに関するディスカッション②	ビジネスプランの精緻化と実行計画作成
8月4日	第15回	【発表】 ビジネスプラン最終発表			

※講義の順序は、変更になる場合があります。

博士のキャリアデザイン

春　水曜4限(14:40-16:10)
成長戦略教育研究センター 教授　為近 恵美
教室:理工A305

『博士学生のためのキャリアデザインⅠ』/『博士進学とキャリアデザイン』

Ⅰ		項目	内容補足	講師
1	4/9	科目ガイダンスとキャリア全般	企業が博士を求めている実態 日本が博士を必要としているデータ	為近
2	4/16	博士キャリアの現実と就職戦略	博士の進路を考える・就活の進め方	エマテク 深澤
3	4/23	博士のキャリアを知る	アカデミア(国研)の研究職	東大物性研 小林
4	5/7	企業における研究開発と求める研究者像(1)	博士採用企業の講師	NTT 田中
5	5/14	企業における研究開発と求める研究者像(2)	博士採用企業の講師	京セラ 三品
6	5/21	企業における研究開発と求める研究者像(3)	博士採用企業の講師	海上研 木村
7	5/28	企業における研究開発と求める研究者像(4)	博士採用企業の講師	レゾナック 瀬戸
8	6/4	まとめと課題フィードバック		為近

『博士学生のためのキャリアデザインⅡ』

Ⅱ		項目	内容補足	講師
1	6/11	ジェネリックスキルを身に付ける1	交渉学	隅田
2	6/18	ジェネリックスキルを身に付ける2	知財マネジメント	山本
3	6/25	キャリア選択のための自己分析	自己理解	勝木
4	7/2	ジェネリックスキルを身に付ける3	プレゼンテーションの技法	為近・勝木
5	7/9	自分の研究テーマを説明する(プレゼン演習)		為近・勝木
6	7/16	自分の研究テーマを説明する(プレゼン演習)		為近・勝木
7	7/23	自分の研究テーマを説明する(プレゼン演習)		為近・勝木
8	7/30	まとめと課題フィードバック		為近

※講義の順序等を変更する場合があります。

2025

情報基盤センター クイックガイド 新入生用

本紙は、アカウント設定を行う上で大切な情報が掲載されています。アカウントの初回設定が終わるまで大切に保管してください。初回設定には、本紙とWebのクイックガイドを見ながら各種設定を行って下さい。

情報基盤センター（ITSC）では横浜国立大学の各種サービスを提供・管理しています。
場所：S5-4（キャンパスマップ参照）
開室時間：平日 8:30-12:45, 13:45-17:00
TEL：045-339-4390, 4394
ITSC URL **https://www.itsc.ynu.ac.jp/**
⚠サービスや障害情報など告知しています。定期的に Web を確認してください。

［センター Web サイト］

本センターでは、以下の3つのアカウントを発行しており、これらのアカウントで様々なシステム・サービスを利用することができます。利用開始日付は、本センター Web サイトに掲示します。

YNU ログイン ID

YNU アカウント管理システム

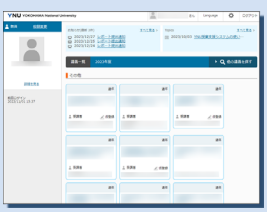
【必須】

初期パスワードを変更し、アカウントを有効化して下さい。本システムで YNU メールアカウントを確認できます。

YNU Wi-Fi

【初期設定必要】

大学内の Wi-Fi でインターネット接続が利用できます。



YNU 授業支援システム

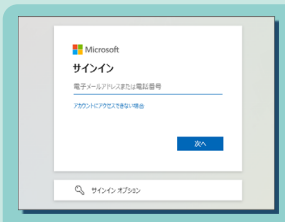
大学における授業運営を効率的に支援する LMS（Learning Management System）。授業の教材の閲覧、出席、課題の提出など。

学認

学認参加出版の電子ジャーナルの閲覧、NII FileSender（大容量ファイル転送サービス）、学認 RDM の利用など。

この他、本センター管理外の大学システムへ YNU ログイン ID でログインできます。
- 学務情報システム
- オンデマンド動画配信サーバ（ESVOD）
- 在学生向けオンライン掲示板　など

YNU メールアカウント



Microsoft 365

【必須】

Microsoft のサービス、YNU メール（Outlook）、Teams、OneDrive 等を利用できます。以下は代表的なアプリです。

Outlook
メールが送受信できます。重要なメールが届いていないか、日常的にチェックするようにしましょう。

Word
文書作成ソフトです。文字の装飾や配置が得意なため、レポート作成に使われることが多いです。

Excel
表計算ソフトです。分析したい情報を入力し、データ集計やグラフ作成が行えます。

OneDrive
Google Cloud や iCloud のような、Microsoft のオンラインストレージです。

Teams
ビデオ会議やチャット機能をもったアプリケーションです。

PowerPoint
簡単な図表やアニメーションを使って、プレゼンテーションで利用するスライドを作成できます。

YNU-Google アカウント

申請制です。Google Workspace を利用できます。
なお、教育学部及び教育学研究科学生は入学時に発行されるので申請の必要はありません。

裏面もご覧ください。

YNU ITSC

サービスを利用するには…

情報基盤センターが提供する様々なシステムを利用するには、まず初期パスワードを変更し YNU ログイン ID を有効化する必要があります。PC（）、スマートフォン（）を用意の上、Wi-Fi やメールアカウントの設定含め、Web のクイックガイドを見ながら各種設定を行って下さい。（ITSC https://www.itsc.ynu.ac.jp/）

ITSC ＞ クイックガイド ＞ 学生用 ＞
情報基盤センター クイックガイド（学生向け）＞ スタートアップガイド

右の QR コードからアクセスして下さい。

1. YNU ログイン ID、パスワード

あたなたが YNU アカウント管理システムにログインするための YNU ログイン ID、初期パスワードはこちらです。

身分	YNU ログイン ID		例
学部学生	b	学籍番号	b2512345
大学院生	d	学籍番号	d25ab123
その他 ※	s	学籍番号	s25cd123

※研究生、科目等履修生、聴講生など

初期パスワード

入学手続き時に記入した
4桁パスワード

yai&GrE%□□□□

例）yai&GrE%9999

各システムにログインするときは、英字は小文字に置きかえて入力します。
例：学籍番号「25AB123」の大学院生は「d25ab123」

2. 初期パスワード変更

YNU アカウント管理システム

https://acmng.ynu.ac.jp/

① PC/ スマートフォンのどちらかで、情報基盤センター Web サイトの【YNU アカウント管理システム】の案内ページにアクセスします。

② 「1. YNU ログイン ID、パスワード」で確認した YNU ログイン ID、パスワードでログインし、「学生 初回設定について」の案内に従ってアカウント管理システムの初回設定を行って下さい。

③ YNU アカウント管理システムの情報を確認の上、「スタートアップガイド」に従い、各種サービスの初回設定を進めて下さい。

【入学手続き時に記入したパスワードについて】
「初期パスワード」は、入学手続時に記入した4桁の数字を基に作成しています。忘れてしまった場合は、学生証を持って教育企画課（学生センター⑦窓口）に申し出てください。なお、大学に来ることができない事情がある場合に限り、電話でもお問い合わせを受け付けます。
（教育情報係 045-339-3126 受付時間：平日 8:30-12:45，13:45-17:00）※必ず学生本人がお電話ください。

問い合わせ方法

ITSC ＞ よくある質問

［よくある質問］ まずは Web サイトの FAQ（よくある質問）を確認して、解決しない場合は、フォームから問い合わせることができます。
学内にいる場合は、情報基盤センター2階 事務室の窓口にお越し下さい。

2025

Information Technology Service Center
Quick Guide for New Students

This paper contains important information for setting up your account. Please keep it in a safe place until you have completed the initial setup of your account. For the initial setup, please refer to this paper and the Quick Guide on the web for various settings.

The Information Technology Service Center (ITSC) provides and manages various services for Yokohama National University.
Location: S5-4 (see campus map)
Opening hours: weekdays 8:30-12:45, 13:45-17:00
TEL：045-339-4390, 4394
ITSC URL **https://www.itsc.ynu.ac.jp/**
⚠ Service and failure information is announced.
Please check the Web periodically.

[ITSC Web Site]

The Center issues the following three accounts, which can be used to access various systems and services.The start date of use will be posted on the Center's Web site.

YNU Login ID

YNU account management system

【Mandatory】

Please change your initial password and activate your account.

YNU Wi-Fi

【Initial setup required】

Internet access is available via Wi-Fi on campus.

YNU LMS

LMS (Learning Management System) efficiently supports class management at university.

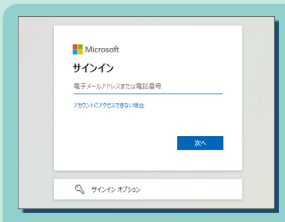
GakuNin

Browsing e-journals of accredited participating publications, using NII FileSender and accredited RDM, etc.

In addition, you can also use your "YNU login ID" to log in to offered outside of the ITSC.

- Educational Affairs Information System
- On-demand video delivery server (ESVOD)
- BBS for Current Students, etc.

YNU Mail Account



Microsoft 365

【Mandatory】

Microsoft services, YNU Mail (Outlook), Teams, OneDrive, etc. are available.

Outlook
You can send and receive e-mail. Be sure to check dairy,you don't miss any inportamt e-mails.

Word
Document creation and editing software. Primary use case is for writing report.

Excel
Spreadsheet software. Data tabulation and graphing can be performed.

OneDrive
It is Microsoft's online storage like Google Cloud and iCloud.

Teams
Collaboration platform application. It unifies voice,video,chat and file sharing.

PowerPoint
You can create slides for use in presentations with charts and animations.

YNU-Google Account

Google Workspace is available upon application.Students in College of Education and Graduate School of Education are issued at the time of admission and do not need to apply.

Please turn over.

YNU ITSC

To use the service...

To use the various systems provided by the Information Technology Center, you must first change your initial password and activate your YNU login ID.Please prepare your PC (💻) or Smartphone(📱)and follow the quick guide on the web to set up the various settings.
(ITSC https://www.itsc.ynu.ac.jp/)

ITSC > Quick Guide> For Students>
ITSC Quick Guide (for students)>Startup guide
Please access from the QR code on the right.

1. YNU login ID,Password

This is your YNU login ID and initial password to log in to the YNU account management system.

Student Type	YNU Login ID		Example
Undergraduate student	b	student ID number	b2512345
Graduate student	d	student ID number	d25ab123
Other student ※	s	student ID number	s25cd123

※ Other students means research students,credited auditor,auditor etc.

initial password

4-digit password entered during the enrollment process

yai&GrE%□□□□

Example) yai&GrE%9999

⚠ Upper case letters are replaced by lower case letters when logging into each system.
Example: Graduate student with student ID number "25AB123" is "d25ab123"

2. Change initial password on firstlogin

https://acmng.ynu.ac.jp/

YNU Account Management System

1. Access the "YNU Account Management System" page on the Center for Information Technology's website using either a PC or a smartphone.
2. Log in with the YNU login ID and password confirmed in "1. YNU Login ID and Password" and follow the instructions in " for students Initial Setup" to complete the initial setup of the account management system.
3. After confirming the information in the YNU account management system, please proceed with the initial setup of the various services according to the "Startup Guide" .

⚠ 【About the password you entered during the enrollment process】
The "Initial Password" is based on the 4-digit number you entered during the enrollment process.If you have forgotten it, please bring your student ID card to the Educational Affairs Division (Student Center (7) counter).In addition, inquiries may be made by phone only if unavoidable circumstances prevent you from coming to the university.
(Educational Information Section 045-339-3126 Hours: 8:30-12:45, 13:45-17:00 on weekdays)
※ Please make sure to call the university yourself.

How to Inquire

ITSC > FAQ

[📱FAQ]

Check the FAQ on the website first, and if the problem is not resolved, you can contact us using the form.
If you are on campus, please visit the service counter on the second floor of the ITSC.

新入生向け学生生活案内
（学生支援課からのお知らせ）

在学生向けポータルサイト

学生生活ハンドブック、オンライン掲示板、LMS などのリンクが集まっていますのでブックマーク登録をお願いします。

学生のためのシステムサイトマップ（ポータルサイト）はこちらです。
https://www.ynu.ac.jp/student/

内容

◎ Microsoft365、授業支援システム、学務情報システム、
オンライン掲示板、安否確認システム

◎ 学生生活ハンドブック

- 履修・授業
- 台風接近や地震等が起きたら
- 各種申請・手続
- 授業料・奨学金
- 学生生活サポート
- 就職・キャリア
- 学生寮・施設等案内
- クラブ・サークル活動
- 国際交流・留学
- 情報システム関係
- 問い合わせ・相談窓口
- 学則・学務関係規程
- その他

新入生向け学生生活案内（学生支援課からのお知らせ）

「新入生向け学生生活案内（学生支援課からのお知らせ）」は、
こちらに掲載しています。
https://www.ynu.ac.jp/campus/guide/handbook/index.html

掲載内容

1. 新入生のみなさんへ　学生生活の注意事項《気をつけたい10のこと》
2. 学生相談窓口のご案内
3. 通学定期券について
4. 通学経路について
   - 最寄り駅からの通学路について
   - 羽沢横浜国大駅を利用して通学する皆さんへ
   - 通学マナーについて

履修登録に関する情報は　大学 HP→教育・学生生活→履修・授業→履修登録　に掲載しています。
本学の履修登録は学務情報システムで行います。
（在学生向けポータルサイトや履修登録 WEB ページにリンクがあります。）
学務情報システムログインページで操作方法や履修登録期間を案内していますので、
指定期日までに必ず履修登録を行ってください。
なお、システム利用時間は**9時～23 時**となっていますのでご注意ください。

2025年度学生定期健康診断のお知らせ

横浜国立大学保健管理センター

全学生を対象（研究生・科目等履修生・聴講生を除く）に定期健康診断を下記の日程で実施します。
健康診断は健康の保持、疾病の早期発見に役立ちます。必ず受診するようにしましょう。

1．内容　問診票記入、身長・体重測定、視力検査、聴力検査（会話法）、血圧測定、尿検査、胸部X線撮影、内科診察（聴診なし）

2．場所　**教育文化ホール　大集会室**（キャンパスマップS1−②）※横浜国立大学内の施設です。新入生の方はご注意ください。

3．日程

実　施　日	対　象　者	受　付　時　間	
		午　前	午　後
4月　8日(火)	男　子	10:00～12:15	13:30～16:00
4月　9日(水)	男　子	10:00～12:15	13:30～16:00
4月10日(木)	女　子	10:00～12:15	13:30～16:00
4月11日(金)	男　子	10:00～12:15	13:30～16:00
4月14日(月)	女　子	10:00～12:15	13:30～16:00
4月15日(火)	女　子	10:00～12:15	13:30～16:00
4月16日(水)	男　子	10:00～12:15	13:30～16:00
4月17日(木)	男　子	10:00～12:15	13:30～16:00
4月18日(金)	女　子	10:00～12:15	13:30～16:00
4月21日(月)	男　子	10:00～12:15	13:30～16:00

4．注意事項

①**学生証がないと受診できません。必ずお持ちください。**

②胸部X線撮影は、Tシャツ（ボタン・金具・プリントのないもの）1枚のみ着用し行います。
③妊娠の可能性のある学生は胸部X線撮影は行いません。必ず受付に申し出てください。
④2025年度の上記日程における健康診断証明書は、5月23日（金）から証明書自動発行機で発行できます。
⑤前年度（2024年度）の健康診断証明書は、5月7日（水）まで発行します。
⑥新入生で受診できない場合は、外部医療機関で受けて、
7月1日（火）までに健康診断証明書（写し）を所属学部等の学務担当係に提出してください。
※今年度（2025年度）から学外健診はコロナ禍以前の対応（有料）へ戻ります。
⑦受診者全員に結果を通知しますので、6月2日（月）以降、所属学部等の学務担当係まで取りに行ってください。
⑧健康診断実施日には、保健管理センターでの一般診療は休診となります。
⑨配慮等、必要な場合は、保健管理センターへご相談ください。

※受診票・問診票は、健康診断及びその集計に用います。健康診断に関する個人情報は、第三者への漏えいのないよう厳重に管理いたします。
※ご本人以外に、本学保健管理センタースタッフ及び本学の健診に係わる学外の医療機関がこの情報を共有しておりますことをご了承ください。
※結果については、今後の健康管理に役立てるため個人が特定できないよう匿名化した上で学会・論文等で報告することがあります。
この調査にご自身の結果が加わることを希望されない方は申し出てください。

胸部X線検査について
※学校保健安全法施行規則の改定に伴い、胸部X線検査の対象者は第1学年のみとなりました。しかし、感染症の早期発見及び拡大防止、並びに胸部X線検査結果が健康診断証明書の必須項目であることより、本学では、今後も胸部X線検査を全員を対象として実施いたします。
※どうしても胸部X線検査を希望されない方は、申し出てください。ただし、胸部X線検査を受けないと健康診断証明書は発行できません。

Notice Regarding the 2025 School Year Student Regular Health Exam

YNU Health Service Center

The Annual Health Examination is given to all students (excluding Research students (kenkyusei), Accredited auditors (kamokuto rishusei), and Auditors (chokosei)) in April 2025.

1. Contents: Filling in a medical questionnaire, measurement of height and weight, vision test, hearing test (by interview), measurement of blood pressure, Urinalysis,chest X-ray test, and medical check by doctors

2.Place: **Education and Cultural Hall** (campusmap S1-②) ※Please make sure it is the facility of YNU in campus.

3. Schedule

Date	Eligible Person	Time	
		AM	PM
April 8, Tue	Men	10:00～12:15	13:30～16:00
April 9, Wed	Men	10:00～12:15	13:30～16:00
April 10, Thu	Women	10:00～12:15	13:30～16:00
April 11, Fri	Men	10:00～12:15	13:30～16:00
April 14, Mon	Women	10:00～12:15	13:30～16:00
April 15, Tue	Women	10:00～12:15	13:30～16:00
April 16, Wed	Men	10:00～12:15	13:30～16:00
April 17, Thu	Men	10:00～12:15	13:30～16:00
April 18, Fri	Women	10:00～12:15	13:30～16:00
April 21, Mon	Men	10:00～12:15	13:30～16:00

4.Reminders

① You must have your Student ID to take the examination.

② Please bring or wear T-shirt with no buttons, metallic parts, prints. ←For chest X-ray test

③ Students who may be pregnant should say so on the day of the test. They will not be given the chest X-ray test.

④ If you take the examination during the above period, Health Examination Certificates will be issued by the automatic certificate issuing system from May 23 (Fri).

⑤ Health Examination Certificates based on the results of the previous school year's examination will be issued until May 7 (Wed).

⑥ If you are new students entering in this school year and cannot avoid missing the Student Health Examination, you must be examined at an external medical institution and submit the medical examination certificate(copy)to the academic affairs representative of your department by July 1st(Tue).
※From this year (2025), off-campus health checkups will be charged.

⑦ Everyone will be informed of their results. Please pick them up from the administration department of your college or graduate school after June 2nd (Mon).

⑧ The Health Service Center will not be open for medical care on the day of the Health Examination.

⑨ If you need any assistance or considerations, please contact the Health Management Center.

※The medical consultation and interview forms will not be used for any purposes other than the Health Exam and its summary.
※We strictly manage all medical and other information related to the Health Exam so that it is not disclosed to a third party.
※Please be aware that this information will also be used by Health Service Center staff and external medical facilities involved in this examination.

About the Chest X-ray test

※According to the revisions to the Enforcement Regulations of the School Health Law, from April 1, 2005, students are only required to have the chest X-ray test during their first year instead of all years. However, for the early detection and prevention of infectious diseases and because the chest X-ray test results are required for the Health Examination Certificate, YNU will continue performing chest X-ray tests for all students.

※ Please inform us if you do not wish to undergo the chest X-ray test for any reason.
(Notice: You will not be issued a Health Examination Certificate when you do not have the chest X-ray test).

通学定期券について

【令和5年度以降入学生】
通学定期券購入の有無にかかわらず、令和 5 年度以降に入学するすべての正規生は、学生証裏面の磁気テープの下に、「通学定期乗車券発行控シール」を貼ってください。
「通学定期乗車券発行控シール」は剥がしたり、貼り直したりしないでください。

以下は、通学定期券購入希望者のみへのご案内となります。

通学定期券は、通学を目的とする場合に現住所から大学までの最短区間の購入ができます。通学定期券の購入希望者は、以下の説明をよく読み、目的やルールを正しく理解したうえで、適正な通学定期券を購入し、利用してください。

【通学定期乗車券発行控シールの記入・利用について】

- 記入には、黒ボールペンを使用してください。ラバー等で簡単に消せるペンや鉛筆は使用しないでください。
- 通学定期券の購入希望者は、鉄道会社窓口等で通学定期券を購入する前までに、通学定期券についての下記説明をよく読み、通学定期券の購入は通学目的のみに限定されることや、通学定期券が認められる通学経路に関するルール等を正しく理解したうえで、大学へ届け出ている住所（※）、通学区間を記入し、鉄道会社の窓口等で、裏面に住所・通学区間を記入済みの学生証を提示して通学定期券購入手続きを行ってください。
  ※「大学へ届け出ている住所」とは、入学手続き時に届け出た学生本人の住所のことです。入学手続き時に住まいが決まっておらず「学籍登録カード」に記入できなかった場合は、履修登録時に学務情報システムで住所を登録してください。その後引っ越し等で住所変更があった場合は、教務企画課窓口（学生センター2階7番窓口）又はメール（メール（詳細は学務情報システム内『学生基本情報』ページを参照）で速やかに変更してください。

【通学定期券の購入目的、対象者について】

- 通学定期券は、通学を目的とする場合に限り、現住所最寄りの駅又はバス停 から 大学最寄りの駅又はバス停 までの最短区間の経路で購入ができます。
- 正規課程以外の学生（研究生・科目等履修生・特別聴講学生等）は通学定期券を購入できません。
- 大学まで徒歩圏内の住所の場合は、通学定期券を利用することはできません。

【著しく迂回となる経路について】以下の場合は、著しく迂回となる経路と考えられます。

・ 住所最寄駅が相鉄線の星川、和田町、上星川、西谷、鶴ヶ峰駅の方が横浜駅を最寄駅とすることや横浜駅を通

るルートを経路とすること
・羽沢横浜国大を通過して横浜駅を最寄駅とすること、横浜駅を通過して羽沢横浜国大駅を最寄駅とすること

【最寄駅について】

- 本学の最寄駅は、以下のとおりです。
  - ✧ 鉄道： 三ツ沢上町、羽沢横浜国大、和田町、上星川
  - ✧ バス： 本学内のバス停、岡沢町、釜台住宅第2、釜台住宅第1、ひじりが丘、横浜新道
- 横浜駅からバスを使う方のみ・・・横浜駅から本学までバスで通学する場合（著しく迂回とならない経路に限る）に限っては、横浜駅を通学定期券の最寄駅とすることができます。これは、横浜駅から本学最寄りのバス停までは複数のバス会社が運行していることや、運行本数から、横浜駅から本学最寄りのバス停までは特定のバス会社の定期券を購入することなくその都度バス乗車運賃を支払うことが可能なように設定しているものです。

【不正利用について】
大学へ届け出ている住所以外を学生証裏面シールに記入し、通学定期券を購入すること、アルバイトや就職活動等の通学以外の目的で通学定期券を購入すること、最寄駅もその先の駅も同じ料金だから、便利だからといった理由により最短区間以外で通学定期券を購入することは不正購入にあたります。不正利用は、罰金が科されたり、本学学則による懲戒処分の対象となったりするばかりか、本学の全学生に対する発行停止の措置がとられることもあります。学生であれば自由な目的で自由な区間の通学定期券の購入が認められているわけではありません。通学定期券購入のルールを正しく理解したうえで、適正な通学定期券を購入し、利用してください。

【通学経路変更の場合】【シールの通学定期券発行控欄が埋まった場合】【シールが汚損した場合】
学生証を持参のうえ、学生センター2 階 3 番窓口で手続きしてください。

【学生証の再発行】【転居により住所が変更となった場合】
学生センター2 階7番窓口で再発行/住所変更手続きをしてください。住所変更手続きはメールでも行えます（詳細は学務情報システム内『学生基本情報』ページを参照）。

【通学証明書】
多くのバス会社では、学生証及び適正に記入された学生証の裏面シールにより通学定期券を購入可能ですが、ごく稀に学生証のほかに「通学証明書」が必要な場合があります。通学証明書が必要となる場合は、学生センター2 階3番窓口で申請してください。発行は、申請の翌々営業日の正午以降（例えば申請が月曜日であれば水曜日の正午以降、申請が金曜日であれば火曜日の正午以降）となります（申請と受取には学生証が必要となります）。

【通学定期乗車券発行控シール記入例】

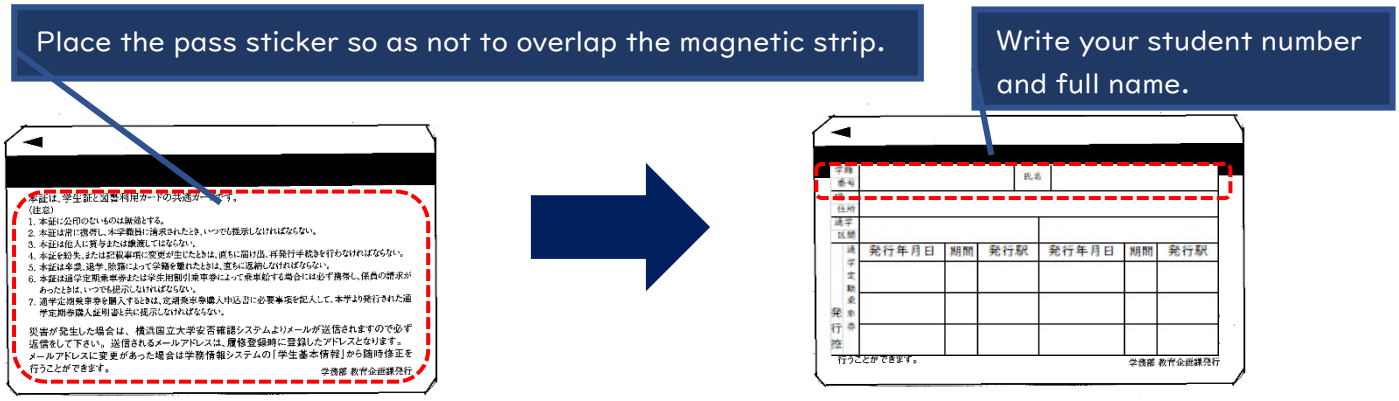
学籍番号	○○○○○○○		氏名	○○ ○○		
現住所	神奈川県足柄下郡真鶴町○○○					
通学区間	真鶴 ー 横浜			横浜駅西口 － 国大中央		
発行控 通学定期乗車券	発行年月日	期間	発行駅	発行年月日	期間	発行駅

・「現住所」欄には、大学へ届け出ている住所を記入
・「通学区間」欄には、現住所最寄りの駅 から 大学最寄りの駅 を記入。鉄道とバスは分けて記入してください。

最寄駅と本学間の通学路、各門周辺は住宅が多くあります。通学の際は、近隣の方の生活環境に十分配慮し、横に広がらないよう歩く、静かに話す等、国大生として良識ある行動をお願いします。

Student Commuter Pass

[Students entering the University in or after AY 2023]
All students entering the University in or after AY 2023 should place “通学定期乗車券発行控シール” (student commuter pass issuance sticker, or pass sticker) on the backside of their student ID card, below the magnetic strip, regardless of whether they purchase a commuter pass.
The pass sticker must not be removed or repositioned once placed on the student ID card.



Information for students who wish to purchase a student commuter pass is listed below.

A student commuter pass can be purchased only for the purpose of travel to and from the University, and covers the shortest route between the student’s home and the University. Students wishing to obtain a commuter pass should carefully read and understand the information on its purpose and use before purchase, and be sure to buy and use the commuter pass in the manner stipulated.

【Filling out and using “通学定期乗車券発行控シール” (pass sticker)】

- Use a black ball point pen to fill out the pass sticker; do not use an erasable pen or pencil.
- Read the information below before purchasing your student commuter pass, and be sure to understand that its use is restricted to commuting to and from the University and that travel routes are limited. The commuter pass can be purchased at railway stations or other sales outlets by presenting your student ID card with the required information filled in (i.e., your address registered with the University and the commuting route).

  Note: The “address registered with the University” refers to the student’s address written on the enrollment registration form submitted at the time of enrollment. If you did not have an address at the time of enrollment and left the address blank, please register your current address on the Educational Affairs Information System when completing course registration. If you move after having registered an address, promptly report the change of address to the Educational Affairs Division (Service Desk No. 7 on the 2nd floor of the Student Center) or send an email to the address provided on the Student Info page of the Educational Affairs Information System.

[Purpose and eligibility of a student commuter pass]

- Students can purchase a commuter pass solely for the purpose of commuting to and from the University, limited to the shortest route between the nearest railway station or bus stop to home and the nearest railway station or bus stop to the University campus.
- Students who are not enrolled in a regular program (e.g., research students, credited auditors, and special audit students) are not eligible for a student commuter pass.
- Students living within walking distance to the University campus are also not eligible for a commuter pass.

[Inappropriate detour routes]
The following cases are considered inappropriate detour routes.
・ Students whose nearest station to their home address is Hoshikawa, Wadamachi, Kami-hoshikawa, Nishiya, or Tsurugamine of the Sotetsu Line specifying Yokohama Station as the nearest station or choosing

Contact: General Student Affairs Section, Student Support Division（Service Desk No. 3, 2F Student Center）

a route through Yokohama Station.
・Students bypassing Hazawa Yokohama-kokudai designating Yokohama as the nearest station, or bypassing Yokohama specifying Hazawa Yokohama-kokudai as the nearest station.

[Railway stations/bus stops close to the University]

- The railway stations/bus stops close to the University are as follows:
  - ✧ Rail: Mitsuzawakamicho, Hazawa Yokohama-kokudai, Wadamachi, Kami-hoshikawa
  - ✧ Bus： On-campus bus stops, Okazawacho, Kamadai-jutaku-daini, Kamadai-jutaku-daiichi, Hijirigaoka, Yokohama-shindo
- Students taking a bus from Yokohama Station:
  Students taking a bus from Yokohama Station to the University (by a route not considered an inappropriate detour) can designate Yokohama Station as the nearest station for their commuter pass. In doing so, students can take any of the buses operating between Yokohama Station and the bus stops nearest the University and pay for each ride, and not be bound to a single bus company from which they purchase their commuter pass, as there are multiple bus companies operating from the Yokohama terminal.

[Fraudulent purchase and use of a student commuter pass]
Fraudulent purchase and use include purchasing a commuter pass

- with a student ID card giving an address different from the one registered with the University
- for use other than travel to and from the University (e.g., travel to a part-time job or job-hunting activities)
- for a route that is not the shortest route for reasons of personal convenience (e.g., choosing a station one stop ahead of the nearest station to home simply because the fare is the same)

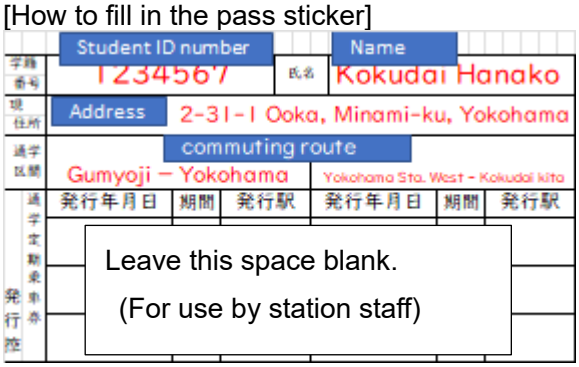
These acts can be subject to criminal indictment for fraud or disciplinary action under the University's regulations, and can even result in suspending the issuance of student commuter passes for the entire student body. Bear in mind that your student status does not mean you can purchase a student commuter pass for any purpose you please or for any route you choose. You should buy and use the commuter pass in line with the rules pertaining to the purchase and use of student commuter passes.

If your commuting route changes, or the space on your current pass sticker is full, or your current sticker is damaged, report to Service Desk No. 3 on the 2nd floor of the Student Center with your student ID card.

To apply for reissuance of your student ID card or to report a change of address when moving, go to Service Desk No. 7 on the 2nd floor of the Student Center. You can also report the change of address via email (for details, see the Student Info page of the Educational Affairs Information System).

[Certificate of Commute]
Bus companies generally sell student commuter passes based on the student ID card and the pass sticker on its backside (provided the information is complete), but in rare instances they may require a Certificate of Commute in addition to a student ID card. Students can apply for a Certificate of Commute, if needed, at Service Desk No. 3 on the second floor of the Student Center. The certificates are issued after 12:00 p.m. two business days after receiving an application. (For example, if you apply on Monday, you can receive the certificate after 12:00 p.m. on Wednesday; if you apply on Friday, you can pick up the certificate after 12:00 p.m. on Tuesday.) You are required to present your student ID card for application and pick-up.

[How to fill in the pass sticker]



・For "現住所 (current address)," enter the address registered with the University.
・For "通学区間 (commuting route)," enter the nearest railway station/bus stop to home and the nearest railway station/bus stop to the University.
<u>Write the railway stations/bus stops separately</u>.

The routes between the railway stations/bus stops nearest the University and the University as well as the areas around the campus gates are residential areas. Students are expected to comport themselves in a manner befitting YNU students when traveling to and from the University; this means refraining from behavior that may disturb neighborhood residents (e.g., do not spread out and block paths, keep noise to a minimum).

Contact: General Student Affairs Section, Student Support Division（Service Desk No. 3, 2F Student Center）

YNU キャリア・サポートルーム

キャリサポの学内限定情報やサービスを活用して就活準備を進めよう！

学生センター３階のキャリア・サポートルームでは、以下のご利用ができます。
オンラインで利用が可能なものも多く電話やメールでの相談も受けていますので、場所を選ばずに支援が受けられます。

- 就職関連（公務員含む）情報の収集　● ビジネス雑誌・新聞の閲覧
- 就活本の貸出し　● 卒業生の進路先／ＯＢ・ＯＧ名簿閲覧

※就活本の貸出しと卒業生の進路先／ＯＢ・ＯＧ名簿閲覧には学生証の提示が必要です。

＜オンラインで収集や利用が可能なもの＞

- 就職ガイダンス・講座　●求人・インターンシップ情報の閲覧
- 就職相談（事前予約制）　● 模擬面接（事前予約制）

▼利用方法の詳細は、下記ページをご参照ください（リンクをClick！）▼
「在学生の方へ」
http://www.gakuseisupport.ynu.ac.jp/career/student/

キャリア・サポートルーム　（学生センター３階／就職支援係）
【開室】平日　8:30～12:45、13:45～17:00
【TEL】 045－339－3117、3133　【E-mail】gakusei.shushoku@ynu.ac.jp

Get しよう！ オリジナル就活手帳を2027卒にプレゼント！

就活お役立ち情報とスケジュール帳が一つになった、
横浜国立大学オリジナル就活手帳「YNU CAREER GUIDE BOOK」の2025年～2027年版を
2027年卒（新3年生・修士1年生）の希望者に、4月16日よりキャリア・サポートルームで配布します！

参加 しよう！ 対面開催！ 春学期就職ガイダンス（4/10，4/11，4/15）

就職活動のスケジュールや進め方などを解説する「就職ガイダンス」を開催します！
３日とも基本的に同じ内容ですが、後半で実施するビジネス社会の理解を深めるワークの協力企業は入れ替わります。
主に新３年生・修士１年生に向けた内容ですが、会場に余裕がある場合は全学年参加可能です。

４月１０日（木）16:30～18:30
４月１１日（金）16:30～18:30
４月１５日（火）16:30～18:30

内容　：　就活スケジュール・基本的な進め方の解説、ビジネス社会の理解を深めるワークなど
場所　：　附属図書館メディアホール

参加者全員プレゼント！ 横浜国立大学オリジナル就活手帳「YNU CAREER GUIDE BOOK」2025年～2027年版と、業界研究に役立つ「業界地図」を参加者全員にプレゼントします！

チェック しよう！ 授業支援システム，X，WEBサイトで情報をGet！

キャリア・サポートルームからの情報は、授業支援システム（就職支援係の【連絡専用】講義）、在学生向けオンライン掲示板、公式X、キャリア・サポートルームWEBサイトで随時配信しています。
今年度春学期に開催予定の就職ガイダンス・セミナー等の日程は、裏面（２頁目）に記載していますが、詳細は授業支援システムやオンライン掲示板、公式X、WEBサイトでご確認ください。

▼就職支援　キャリア・サポートルームWEBサイト
http://www.gakuseisupport.ynu.ac.jp/career/student/

▼公式Ｘ　@ynu_caree

YNU 就職ガイダンス・セミナー等日程

（２０２５年4 月～２０２５年5 月）

日付		方法	カテゴリ	説明型	体験型	企業参加型	行事名
4月	10日 木	対面	全般	★	○	○	**就職ガイダンス春学期 （16:30-18:30） 附属図書館メディアホール** 就職活動のスケジュールと基本的な進め方を解説。 ビジネス社会理解ワークの協力企業以外は3日程同じ内容ですので、いずれかの参加でOK。
	11日 金	対面	全般	★	○	○	
	15日 火	対面	全般	★	○	○	
	16日 水		自己分析	○	○		**自己分析講座** 就活における自己分析の重要性と方法をマイナビの講師が解説。ワークに取り組み理解を深めます。
	18日 金		全般	○			**インターンシップ総合ガイダンス** インターン先の探し方、参加の際の注意点をリクナビの講師が解説。
	22日 火		選考対策	○	○		**エントリーシート講座** 選考の初期段階に求められるエントリーシートの書き方をワークを交えながらマイナビの講師が解説。
	23日 水		選考対策	○	○		**筆記試験・適性検査準備講座** 早めの対策が効果的な筆記試験・適性検査の概要を理解し、代表的な適性検査（SPI）の模擬テストを体験できます。
	24日 木		選考対策	○			**【新規】フェルミ推定とケース面接体験講座** 幅広い業界で導入が増えているケース面接と、その根幹となるフェルミ推定の考え方を複数の事例を基に体験し、就活での応用の仕方を学びます。
5月	8日 木		業界・企業・仕事研究			○	**仕事研究セミナー：人事の本音～総合職・文系の仕事～** 総合職・文系での働き方や求められる人材など、異なる業界3社の人事担当者に「本音」を訊きます。
	9日 金		業界・企業・仕事研究			○	**仕事研究セミナー：人事の本音～総合職・理工系の仕事～** 総合職・理工系での働き方や求められる人材など、異なる業界3社の人事担当者に「本音」を訊きます。
	12日 月		業界・企業・仕事研究			○	**（企業参加型）インターンシップセミナー** 複数の企業がそれぞれの業界全体から自社・インターンシップについての説明会を実施。
	14日 水	対面	業界・企業・仕事研究			○	**（企業参加型）インターンシップセミナー（15:00-18:30） 教育文化ホール** 複数の企業がそれぞれの業界全体から自社・インターンシップについての説明会を実施。
	15日 木	対面	業界・企業・仕事研究			○	**（企業参加型）インターンシップセミナー（15:00-18:30） 教育文化ホール** 複数の企業がそれぞれの業界全体から自社・インターンシップについての説明会を実施。
	20日 火		業界・企業・仕事研究	○	○		**業界・企業研究講座** 業界・企業研究の方法についてワークを交えながらキャリタス就活の講師が解説。
	22日 木		選考対策	○	○		**面接選考準備講座** 夏インターンシップの選考に向けて、WEBと対面の面接選考の概要や対策準備についてダイヤモンド就活ナビの講師が解説。

時間 １６：３０～ **※一覧表に時間記載がないものは16:30開始で、終了時刻はイベントごとに異なります。**

方法 **無印：オンライン（ ZoomによるLIVE配信） ／ 対面：附属図書館メディアホール又は大学会館**

※いずれの参加も**"授業優先"**のうえ、学業に支障がない範囲で参加してください。

※一覧に記載の内容は、変更となる可能性がありますので最新の情報を確認してください。

最新情報は、授業支援システム、オンライン掲示板、公式X、キャリア・サポートルームWEBサイトからご確認ください。

＜問い合わせ先＞
キャリア・サポートルーム （学生センター３階／就職支援係）
045-339-3133 gakusei.shushoku@ynu.ac.jp

キャリサポWEBサイト
https://www.gakuseisupport.ynu.ac.jp/career/

～充実したキャンパスライフのお手伝い～

理系女子学生の応援ネットワーク

YNU WIN

YNU Women Initiative Network

YNU WIN（YNU Women Initiative Network）では
主に理系の女子学生の皆さんを対象に、
大学生活や大学院進学、就職に役立つ情報
をメールにて配信しています。

ご登録のメリット

企業等で活躍するOGや女性研究者、博士女子学生による講演会・懇談会やシンポジウムなど、大学院進学を目指す、または現在大学院在籍中の理系女子学生に役立つさまざまな情報を受け取れます。
ぜひご登録ください！

ご登録はコチラから

主催・企画　横浜国立大学ダイバーシティ戦略推進本部　男女共同参画部門
問い合せ先　横浜国立大学ダイバーシティ推進室　sankaku.jimu@ynu.ac.jp

キャンパス・サポーター（障がい学生支援）募集

障がいのある学生が障がいのない学生と同様に授業を受けることができるよう、支援をしてくれる学生を募集しています。

支援活動の例

UDトーク誤変換修正、パソコンテイク、ノートテイク、板書テイク、対面朗読、手話通訳、教材のテキストデータ化、音声データの文字おこし、車椅子介助、移動ガイド、文献検索支援など

キャンパス・サポーター（障がい学生支援）にご登録いただきますと、支援依頼メールが届きますので、興味がありましたらご応募ください。

支援活動には、謝金をお支払いします。ご自分の授業予定に合わせて、活動可能な時間に協力してください。

キャンパス・サポーターへの登録は、右下のQRコードを読み取り、オンラインにてお申込みください。

サポーター向けの研修を企画しておりますので、是非ご参加ください。

支援活動を行う前に、傷害保険、賠償責任保険に必ず加入してください。

オンライン登録用QRコード

興味・関心のある方は障がい学生支援室(学生センター2階③番窓口)までお気軽にお問い合わせください。

Tel: 045-339-3118
Email: shougai.shien@ynu.ac.jp

キャンパス・サポーターの先輩からの声

Q1 サポーターになろうと思ったきっかけは？

- サークルの先輩からの紹介です。（理工学部4年）
- 身近に聴覚障がいのある人や、支援をする人がいたことです。（経済学部3年）
- 先生からの紹介です。（国際社会科学府2年）

Q2どんな活動を担当している？

- 聴覚障がいのある学生さん向けの支援です。利用学生の、いわば「耳」の代わりとなって、授業の会話の内容や先生が話す内容を二人のサポーターが手書きで文字におこし、情報の保障を行っています。（理工学部4年）
- 聴覚障がいのある学生さん向けに、配信用の授業動画に字幕をつける作業を担当しています。（理工学部4年）
- バリアフリーマップの作成や、車いす利用学生のための、昇降机（高さが変えられる車いす利用者用の机）が教室の正しい位置にあるか、スロープに通行の妨げになるようなものがないかの確認をしています。（経済学部3年）

Q3 サポーター活動をして、よかったと思うことは？

- 自らの当たり前が当たり前でないということに気付き、受取手のことを考えた発話や表現を心がけるようになったことです。身の回りに目を向けるようになり、気付かなかった工夫に気付けるようになりました。（経済3年）

Q4 サポーター活動の中で難しいと感じることは？

- 限られた時間内に、質の高い支援を行わなければならないので、特に初回は大変さを感じると思います。支援は複数人で連携して行うことが多いと思いますので、仲間を信頼しながら自分にできることをすることが大切です。（理工学府1年）

Q5 これからサポーター活動を始めてみようと思う方へのメッセージ

- ぜひ一緒にみんなが過ごしやすい大学を作っていきましょう。タイピングスキルなどは後から身に着ければいいので、ぜひ少しでも興味があれば、登録してみてください。一緒に活動できるのを楽しみにしています。（経済学部3年）
- 私も初めは緊張しましたが、ペアのサポーターさんや利用学生さんとの交流ができ、充実した活動ができると思います。(理工学部4年)

←先輩の声をもっと知りたい方はこちら

博士課程へ進学の皆様へ

博士課程向けキャリア支援制度の紹介

横浜国立大学　地域連携推進機構　成長戦略教育研究センター　ドクターキャリア開発担当

近年、専門知識のみならず新分野開拓や課題発見・解決能力等に秀でた博士人材に対する企業・研究機関からの期待度が高まってきており、実際に多くの博士人材が企業・研究機関で活躍しています。しかし、博士課程後期の皆さんは、企業や研究機関との接点が少なく、博士人材に特化した就職情報やキャリアセミナー等の情報を入手しにくいのが現状かと思います。

当センターでは、そのような博士課程後期の方に対するキャリア支援や、後期への進学を検討している前期（修士）の方へのサポートを行っています。是非ご活用ください。

1 ドクターキャリア相談室

（毎週月・火・水曜日、対面またはオンライン）

博士の就職活動の進め方、キャリア形成、博士課程後期への進学などについてご相談をお受けしています。キャリアコンサルタント資格を持つ教員も在籍しています。ご希望の方はHP内フォームまたは下記「お問合せ」へお申込みください。

2 メールマガジン"Dキャリ情報版"

博士のための就職関連情報やセミナー等の情報をメールマガジン（不定期、日本語）にてお届けします。修士対象のセミナー情報もありますので、博士進学を検討中の方もぜひご登録ください。
（2025年3月時点登録者数：119名（博士：90名、修士：25名、その他：4名））　**登録方法**　右のQRコードからお申込みください。

"Dキャリ情報版"
登録はこちら

3 キャリアパスフォーラム

！2025年10月17日(金)開催予定！

博士採用に積極的な企業・研究機関（18～20社）と就職を検討している博士人材とのマッチングイベントです。事前に企業が求める人物像等を紹介する「企業紹介動画」を視聴していただき、当日は博士人材の皆さん自らが自己PRする「ポスターセッション」、少人数で企業担当者と話し合える「個別相談会」を実施します。
対面でのコミュニケーションやポスター発表に対するフィードバックコメントが好評です。詳細は決まり次第、Dキャリ情報版・HPにてお知らせします。

4 学内イベント・セミナー

学内限定イベントやオンラインセミナーを開催しています。開催が決まりましたら順次、Dキャリ情報版・HPにてお知らせします。
＜昨年度開催実績＞「博士向けキャリア支援プログラム説明会」(4月)、OB講演「横国生 Be ambitious !」～これから社会に出られる皆さんへのTIPS～（7月）、「若手社員が経験を語る～半導体関連メーカー特集～」(11月)、「先輩博士の就活体験談 ～内定者に聞く～ 」（2月）、「博士のキャリアガイダンス～これから博士へ進学する学生も～」(3月）

●お問合せ●

横浜国立大学　地域連携推進機構
成長戦略教育研究センター
ドクターキャリア開発担当　（本部西棟N2-3）
E-mail : pdinfo@ynu.ac.jp
HP: https://www.cseg.ynu.ac.jp/dcd/

ホームページ　facebook

夜間（21時以降）・休日に大学内で居残る場合･･･

「居残届」を申請していますか？

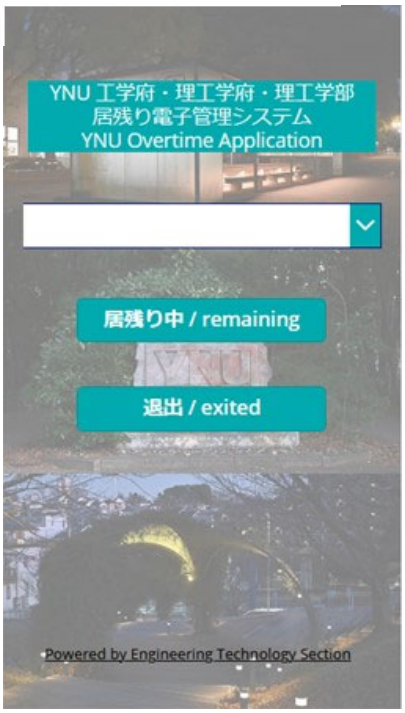
「今日も遅くなっちゃった」
「何か申請が必要だったような･･･？」

居残り電子管理システム

理工学府・理工学部

災害時、管理者へ在室状況が伝わります
「あなたの身の安全のため」在室をお知らせ下さい

本システムは
「Microsoftアカウントにログインする」だけで利用可能！



まずはPower Appsのアプリをインストール

iOS　　Android

理工学府長 竹村 泰司　　理工学部長 濱上 知樹
理工学府・大学院教務・図書委員会　理工学部教務・厚生委員会
工学研究院等技術部

URL：https://rms.ynu.ac.jp/

2025年度4月期 新入留学生オリエンテーション

Orientation for New International Students in April 2025

本年４月に本学へ入学する全ての外国人留学生を対象に、下記のとおりオリエンテーションを実施いたします。外国人留学生の皆様が有意義な留学生生活を過ごせるよう、留学生生活・日本語教育並びに留学生向けの各種手続等について説明をいたしますので必ずご参加ください。
YNU will conduct an orientation for international students who enroll from April 2025. We will introduce you with living, studying Japanese and any other information necessary for your living in Japan. All international students newly entered this April are kindly asked to participate in this event.

日 時：2025年４月３日（木）16:20～17:40
Date: April 3rd (Thu), 4:20 PM – 5:40 PM

場 所：教育文化ホール大集会室（キャンパスマップ S1-2）
Venue: Education and Culture Hall (Campus Map S1-2)

開催言語：日本語（補助的に英語での説明あり）
Language: Japanese (Supplementary explanations in English)

内容（予定） Contents (Tentative):
在留資格 Necessary Procedures Regarding Status of Residence
医療・健康 Medical Care and Health Care
安全・保険 Safety and Insurance
交流・支援・イベント Exchange, support, and other events
日本語学習 Japanese language courses at YNU
留学生の就職活動 Career Support
経済支援制度 Financial Support Programs

※その他、グローバル推進課ウェブサイトにも情報を掲載します。
https://global.ynu.ac.jp/support/orientation/
*There will also be useful information on the Global Promotion Division's Website.
https://global.ynu.ac.jp/en/support/orientation/

JP EN

横浜国立大学グローバル・サポートデスク
Global Support Desk, YOKOHAMA National University

海外渡航時の手続きについて/ Procedures for overseas travel　　updated 2023/8/4

海外渡航にあたって必要な手続きをまとめました。渡航前のご対応をお願いします。
Please follow the procedures below before traveling.

海外渡航者全員対象 For all overseas travelers

下記のいずれかを提出してください。Please submit one of the following.

〇海外渡航届/ Notification of Overseas Travel

https://forms.office.com/r/CmRAF06Awn

上記フォームから WEB 上で送信してください。
大学へ出張申請を行う渡航、大学が実施するプログラムによる渡航等の場合に提出してください。
Please submit the application online from the above form in the case of a business trip of the laboratory, or travel under a program implemented by YNU.

〇私事渡航届/ Personal Travel Notification

https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=odlf-letaqg-f6f2acd1717fb34c97f8537b45ef3f21

WEB 上で送信するとともに、印刷したものを理工学府係へ提出してください。
私事渡航（帰省、観光など）の場合に提出してください。
Please submit the application online and submit a printed copy to the Graduate School of Engineering Science Section in the case of a personal travel (Returning home, Sightseeing, etc.).

※授業支援システム内掲載場所/ Place of Form URL in YNU-LMS
講義名/ Course Name：【連絡専用】理工学系事務部教務課理工学府係[Zac0011]
授業名/ Lecture Name：海外渡航関係/ Overseas travel

海外派遣事業※による派遣者のみ Only travelers by overseas dispatch project

〇誓約書の提出/ Written Oath

様式は下記からダウンロードしてください。
必要事項を記入、署名・押印の上、理工学府係へ提出してください。
Please download the form from below.
Please fill out the required information, sign and seal the form, and submit it to the Graduate School of Engineering Science Section.
グローバル推進課 ＞ 危機管理と海外安全情報 ＞ 海外渡航に関する届出・手続き
Global Affairs Division > Crisis Management and Overseas Safety Information > Notification and Procedures for Overseas Travel
https://global.ynu.ac.jp/studyabroad/safety/

〇海外安全講習（e-learning）の受講/ Overseas safety training (e-learning)

講義名 Lecture Title：海外安全講習 Overseas Safety Training Course [XRCRI19]

授業支援システムで仮登録して受講してください。

Please take the course after pre-registration with the YNU-LMS.

〇OSSMA（危機管理アシスタントサービス）への加入/ OSSMA (Overseas Student Safety Management Assistance)

加入方法等の詳細は下記をご参照ください。

Please refer to the following URL for details on how to join.

グローバル推進課 ＞ 危機管理と海外安全情報 ＞OSSMA（危機管理アシスタントサービス）への加入について

https://global.ynu.ac.jp/studyabroad/safety/

※海外派遣事業とは？

「学生海外派遣事業における渡航前危機管理に関する指針」より以下抜粋

https://global.ynu.ac.jp/wordpress/wp-content/uploads/2022/03/tokoumaekikikanri.pdf

（海外派遣事業の定義）

第２ 本指針の対象となる海外派遣事業は、次の各号に掲げるものをいう。

（１） 本学又は本学の教職員が企画した研修、インターンシップ、学術渡航又は本学から奨学金等資金を得て海外渡航するもの

（２） 日本政府、政府の外郭団体又は自治体等が企画した海外渡航事業で、本学が募集、参加者決定又は催行の一部に関与するもの

２ 海外での学会参加については、当分の間、本学から奨学金を得て参加する場合を除いて、本指針の対象としない。

【参考】

横浜国立大学　国際戦略推進機構　グローバル推進課ウェブサイト

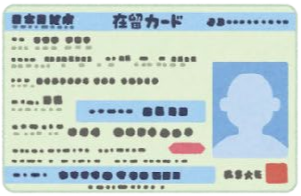
グローバル推進課 ＞ 海外留学 ＞ 危機管理と海外安全情報

https://global.ynu.ac.jp/studyabroad/safety/

海外渡航時の注意等が掲載されています。渡航前にご一読ください。

在留カード情報をご提出ください
Request for Submission of Your Residence Card Information

いつ提出しないといけないの？
When should I submit?



- ◆ 本学に入学してきたときWhen you are newly enrolled at YNU;
- ◆ 在留期限を更新したときWhen you extended the period of stay;
- ◆ 住所が変更になったときWhen you changed your address;
- ◆ 資格外活動許可を得たとき
  When you obtained permission to engage in activity other than that permitted under the status of residence previously granted, or
- ◆ その他、カードの記載情報が変更になったとき
  Any other change was made on your residence card.

どうやって提出するの？
How should I submit?

QR コードを読み込んで、フォームに入力しご提出下さい。Please read the QR code, fill the form and submit it.

QR コードが読み取れない場合はこちら If the QR code is not available：
https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=odlf-lcmioj-93336d03e96141a281559697913c2f69

※登録する情報は、暗号化された通信(SSL)で保護され、株式会社パイプドビッツによる情報管理システム「スパイラル」で安全に管理されます。
* Information to be registered is protected by encrypted communication (SSL) and is safely managed by the information management system "spiral" by Piped Bits Co., Ltd.

誰が提出するの？
Who should submit?

横浜国立大学に在籍する、日本国籍を所持していない学生全員
All YNU students who do not have Japanese nationality

大学は、法律により、所属学生の在留カード情報を把握し出入国在留管理局に報告することが義務付けられています。ご理解とご協力をお願いいたします。
We are required by law to hold the information stated on our student's residence card and make a report to the immigration bureau. Thank you for your understanding and cooperation.

（お問い合わせ先 Contact）
横浜国立大学留学生係 kokusai.shien@ynu.ac.jp
International Students Section, YNU

現在喫煙している人はタバコ（ニコチン）にどれだけ依存しているかチェックしてみよう

質問		回答	点数
Q１	起床後何分で最初の喫煙をしますか？	5 分以内	3
		6 ～ 30 分以内	2
		31～ 60 分以内	1
		61 分以降	0
Q２	図書館,映画館などの喫煙が禁じられている場所で禁煙することが難しいですか？	は い	1
		い い え	0
Q３	１日の喫煙の中で,どちらが一番やめにくいですか？	朝,最初の１本	1
		そ の 他	0
Q４	１日に何本タバコをすいますか？	31 本以上	3
		21 ～ 30 本	2
		11 ～ 20 本	1
		10 本以下	0
Q５	他の時間帯より,起床後数時間に多く喫煙しますか？	は い	1
		い い え	0
Q６	ほとんど１日中,床に伏している病気の時も喫煙しますか？	は い	1
		い い え	0

FTND(Fagerstrom Test for Nicotine Dependence) 指数＊

あなたの合計点

点

依存度 高　７～１０点

重度のニコチン中毒，タバコ漬けの生活になっています
禁煙するには相当の覚悟を決めましょう

依存度 中　４～６点

今以上にタバコに頼らない生活を心がけましょう
また，意識的に喫煙をやめる努力をしましょう

依存度 低　０～３点

この際，タバコを思い切ってやめましょう

＊ ＦＴＮＤ指数について
　ニコチン依存度を簡易判定する方法の一つで，上のように６つの質問からなります．一般にＦＴＮＤ指数が高い人ほどニコチン依存度が高く，禁煙の過程でニコチン離脱症状（タバコが吸いたい，イライラ，落ち着かなくなる，集中力がなくなる）が強くでやすいとされています．ＦＴＮＤ指数は身体的依存に重点が置かれています．
　病院等での禁煙治療の保険診療ではニコチン依存症のスクリーニングテストＴＤＳ（Tobacco Dependence Screener）が用いられ 10 問の設問結果の総計５点以上がニコチン依存症と診断されます．ＴＤＳは精神医学的立場から薬物依存としての診断に用いられます．

（引用：厚生労働省 WEB 禁煙支援マニュアルテキスト教材，禁煙支援マニュアル（第二版））

横浜国立大学における喫煙マナーアップに関するルール

健康増進法の改正により、大学は原則として敷地内禁煙となりましたが、本学では、受動喫煙を防止するために必要な措置がとられた場所である特定屋外喫煙場所（地図に示す６箇所）においてのみ喫煙を可能としております。

本学では、健康増進法の趣旨を踏まえ、受動喫煙の防止、火災リスクの低減、さらに快適なキャンパス環境の向上に資するため、「横浜国立大学　喫煙マナーアップ宣言」を平成26年8月１日に宣言し、喫煙マナーアップに取り組んでいます。
特定屋外喫煙場所以外での喫煙、歩きタバコ、吸殻のポイ捨ては厳に禁止します。
（上記に違反した場合、神奈川県条例に基づき、過料に処せられることがあります。）

特定屋外喫煙場所

健康増進法により大学の
敷地内は原則禁煙です。

※2025年3月現在の特定屋外喫煙場所を示す

1. 南門脇駐輪場内
2. 総合研究棟W棟駐車場
3. 文化サークル共用施設裏
4. 第２食堂・Ｓガーデン裏
5. テニスコート横
6. 本部棟屋上（教職員用）

編集・発行　横浜国立大学労働安全衛生委員会　2025 年 3 月発行

タバコを正しく知った上での喫煙・非喫煙ですか？

横浜国立大学では、受動喫煙防止のため
キャンパス内での喫煙は「特定屋外喫煙場所」のみ可能です

タバコを１日平均 16.0 本*，１年間吸い続けると，タバコの長さにして 584m にもなる．
これは，ランドマークタワー 296.3mを２つ積み重ねた高さと同程度．

＊厚生労働省 国民健康・栄養調査（令和元年）：第 85 表　現在喫煙者の内「毎日吸う」と回答した人の１日当たりの平均値

2025

YNU 横浜国立大学
YOKOHAMA National University

横浜国立大学はグローバル新時代に活躍される学生の皆さんに在学中から健康習慣を身につけていただきたいと考えます

横浜国立大学長

皆さんは，国内はもとより様々な国において活躍する貴重な人材です．本学は公共性のある国立大学として皆さんの健康を守る責務があります．

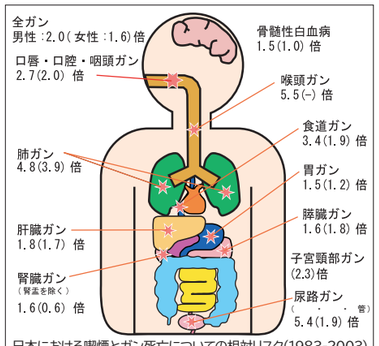
タバコの喫煙が健康に及ぼす悪影響については，長い研究の歴史があり，今日においては多くの研究成果が蓄積しています．その結果，喫煙者に，ガン，心臓病，脳卒中，肺気腫，喘息，歯周病等，特定の重要な疾病の罹患率や死亡率等が高いこと，及びこれらの疾病の原因と関連があることは多くの疫学研究等により指摘されています．また，タバコに依存性があることは確立した科学的知見となっています．

タバコの煙による健康への悪影響は喫煙者本人にとどまりません．他人のタバコの煙を吸わされる受動喫煙によって健康への悪影響が生じることも指摘されています．

喫煙している人，これから喫煙しようとする人，喫煙をやめた人，喫煙しない人，それぞれの人に考えがあるでしょう．このパンフレットはそんな皆さん一人一人に読んでいただき，健康について考えていただくために制作しました．

（参考：厚生労働省 WEB「たばこと健康に関する情報ページ」）

わかっているつもりのタバコと健康 喫煙を続けることのリスクは？



日本における喫煙とガン死亡についての相対リスク(1983-2003)
(引用：(国研)国立がん研究センター WEB)

タバコ1本分の煙に含まれる有害物質は微量でも長年蓄積される量は自身の健康にとって無視できないものとなります．また，タバコの害と言えば肺ガンがよく知られていますが，全身のほとんどのガンの発生と密接な関係があります．

- **口腔・喉頭・肺**
  （タバコの煙に直接さらされる器官）
- **食道・胃**
  （唾液とともに飲み込んだタールが触れる器官）
- **肝臓・膵臓・膀胱など**
  （有害物質を分解・排泄する臓器）
  これらは，左図に示すように非喫煙者に比べ，喫煙者はガンにかかるリスクが高くなっています．

※加熱式タバコも「タバコ」の1つです．ニコチンや発がん性物質など有害物質が含まれています．

タバコのフィルターを通して喫煙者が吸う煙（主流煙）に含まれる化学物質と人体への作用

タバコの煙にはタバコ刻を加熱，燃焼させることによって4,000種類以上の化学物質が生成され，約200種類の有害物質，約60種類もの発ガン性物質が含まれるとされています．

以下に示す化学物質は，喫煙者が吸い込む主流煙に含まれる有害物質の一部です．

物質名	物質形状	発がん性リスク	急性症状	長期的な影響
一酸化炭素	ガス	―	頭痛，めまい，吐き気，意識喪失	心血管系，中枢神経系に影響を与えることがある．人で生殖・発生毒性を引き起こすことがある．
アンモニア	ガス	―	灼熱感，咳，息苦しさ，咽頭痛	上気道の慢性炎症を起こすことがある．肺が冒され，慢性閉塞性肺疾患をきたす場合がある．
ベンゼン	ガス	1	頭痛，吐き気，息切れ，意識喪失	骨髄，免疫系に影響を与え，血球が減少することがある．発ガン性を示す．
ニコチン	粒子	―	吐き気，痙攣，腹痛，下痢，頭痛	動物試験では人で生殖・発生毒性を引き起こす可能性があることが示されている．
ベン　a　レン	粒子・ガス	2A	人の健康への影響に関するデータが不十分であるので最大の注意を払う必要あり．	人で発ガン性を示す．人の生殖細胞に遺伝性の遺伝子損傷を引き起こすことがある．
ホルムアルデ　ド	粒子・ガス	1	咳，咽頭痛，胸部の灼熱感，頭痛	上気道の慢性炎症を起こすことがある．人で発ガン性を示す．

発ガン性リスク
1：人に対する発ガン性が認められる
2A：人に対する発ガン性がおそらくある

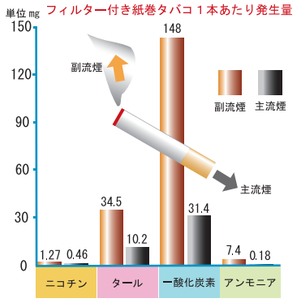
（引用：国際がん研究機関 WEB　IARC Monographs on the Evaluation of Carcinogenic Risks to Humans
国立医薬品食品衛生研究所 WEB「国際化学物質安全性カード（ICSC）日本語版」
厚生労働省「喫煙と健康 喫煙の健康影響に関する検討会報告書」平成28年8月）

喫煙していない人（受動喫煙者）への悪影響は？

前述したように喫煙者が口で吸いこむ方が主流煙，火がついている方から立ち上る煙を副流煙と呼んでいます．副流煙は，右のグラフのように主流煙よりも高濃度の有害物質を多量に含んでいるため，喫煙者の周りのタバコを吸っていない人でも健康に悪影響があります．

受動喫煙による健康被害（リスク増加度）	
各種ガンの発症の危険性を高める（肺ガン）	1.2～1.3倍
気管支喘息の発症を高める	1.5～3.0倍
脳梗塞の発症を促す	1.5～2.0倍
子供の気管支炎や肺炎を引き起こす	1.5～2.0倍
低体重児出産・早産の危険性を高める	1.5倍

（引用：日本禁煙学会編『禁煙学』改訂2版 南山堂，2010年）



（引用：（公財）健康・体力づくり事業財団 WEB）

主流煙を１とすると副流煙には・・・

- タール・・・・・・3.4倍
- ニコチン・・・・・2.8倍
- 一酸化炭素・・・・4.7倍
- 二酸化炭素・・・・1.3倍
- アンモニア・・・・46倍
- 窒素酸化物・・・・3.6倍
- フェノール類・・・・2.6倍
- ベンゾピレン・・・・3.4倍

（引用：（公財）健康・体力づくり事業財団 WEB）

喫茶店の喫煙席室内における調査事例では，大気中に浮遊している粒子状物資いわゆるPM2.5（髪の毛の太さの1/30程度の大きさ）は時間帯により700～800μg/m³の濃度に達するケースがあります．この濃度は環境省が定めた「人の健康を保護し，及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準」の「1年平均値15μg/m³以下かつ1日平均値35μg/m³以下」を遥かに超えています．

また，禁煙席に漏れてくるPM2.5も50μg/m³を超え，環境省の基準値を上回るケースがあります．

（引用：健康管理706号2013.4　大和浩〝健康管理遊歩道（124）古くて新しい問題、PM 2.5について〟）

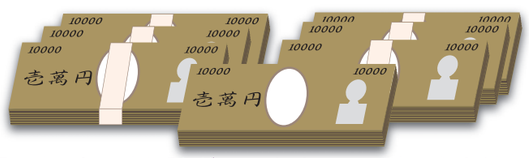
この数値がどのくらい異常であるかは以下の参考値をご覧いただくとよくわかります.(いずれも2019/1/7-7:00データ)

- 横浜市西区浅間下交差点自排局のPM2.5値＊　4μg/m³　（＊引用：環境省大気汚染物質広域監視システム（そらまめくん）WEB）
- 在中国米国公館モニタリングデータ北京のPM2.5値＊　50μg/m³　（＊引用：U.S. Embassy Beijing Air Quality Monitor）

喫煙を続けてしまうとお金はいくら？

タバコを毎日1箱580円買い吸い続けてしまうと1年間で211,700円40年で累計846万円にもなる．

（＊JTメビウスの価格）



タバコを吸い続け，もし肺ガンにかかってしまったら治療費はいくら？

病状の進行度や治療方法にもよりますが，肺ガン（肺腫瘍）の治療ではおよそ160万円（自己負担48万円，食事代とベッド代は別）程度かかります．

（※ 医療費の自己負担額は3割，高額療養費制度の自己負担限度額を超えた分は戻ってきますが，健康保険適用外の投薬や治療を行った場合，一部例外を除き，医療費は全額自己負担となり，数十万～数百万円請求されます．）

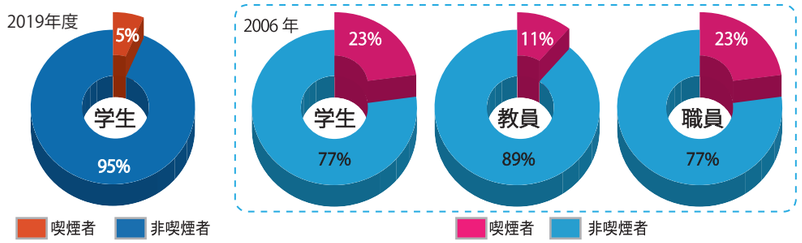
40年間タバコを吸わず，肺がんにもかからなければ、1,000万円以上の経済負担が軽減されます．なにより命や健康はお金にはかえられません．

本学学生・教職員の喫煙の実態

構内にタバコの自販機があった2006年当時，工学部の一部を対象とした喫煙に関するアンケート調査では工学部・工学研究院全体の学生の喫煙者は推計値で23%でした．2019年度の全学部・全大学院の学生の健康診断では喫煙者の割合は約5%でした．

単純な比較はできませんが喫煙者の割合は年々低下している傾向にあります．喫煙者の割合が減少した理由は様々なことが考えられますが，タバコの値上げ，健康への影響認知，ライフスタイルの変化，喫煙できる場所が限られてきたなどの社会情勢の変化が要因として考えられます．

喫煙者・非喫煙者の割合



2019年度全学部・全大学院の学生の喫煙者割合　（引用：本学保健管理センター年報）　2006年工学研究院安全衛生委員会の調査に基づく喫煙者の推定割合

喫煙者は就職お断りの時代がやってきた！

喫煙は防災上のリスクである上，社員の健康面でもマイナスと判断する企業が多くなってきています．業務上の非効率，職場での迷惑という認識も広がっています．採用に当たって非喫煙者であることを条件づけたり，入社前の禁煙を求める企業が相次いでいます．

ある調査によると**経営者の40%が「タバコを吸う人を雇いたくない」**と答えています．

分煙が導入されている企業は相当数にのぼりますが，だからと言って喫煙が奨励されているわけでは決してありません．社員の健康が企業の財産でもあると考える会社は，積極的に禁煙を促す傾向を強めています．欧米の多くの企業では，喫煙者を「自己管理の出来ない人」とみなす風潮があります．WHOでは入社時に，喫煙者を採用差別しませんが，就職後の禁煙を約束させます．日本においても喫煙が就職に絶対不利とは言いませんが，社会風潮を考慮すると，喫煙しない方が会社生活に楽に適応できるでしょう．

法律でも周りの人を守るため，タバコを吸える場所は規制されており，オフィスの中で仕事をしながらタバコを吸える会社はありません．

（引用：横浜市健康福祉局 大学生向けチラシ）

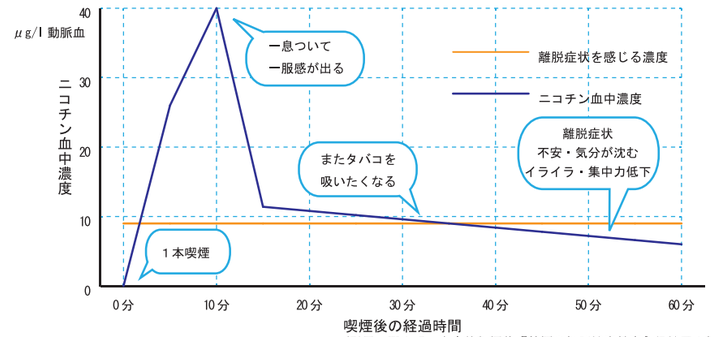
喫煙をやめると下の表・グラフに示すような健康のメリットやニコチンからの離脱症状が現れます

喫煙直後	数時間後	数日後	1～2ヶ月後	1年後	2～4年度	5～9年後	10～15年後
最終喫煙直後より，タバコによるダメージから回復しようとする機能が働く	血中一酸化炭素濃度が正常レベルになる 血中の酸素濃度が上がる	味覚や嗅覚が改善する 体内からニコチンがなくなる	咳，痰，喘息が改善する	肺機能が改善する	心臓の病気のリスクが，タバコを吸い続けている人に比べて35%も減少する	肺がんのリスクがタバコを吸い続けている人に比べて明らかに低下する	様々な病気にかかるリスクが非喫煙者のレベルまで近づく

（引用：横浜市健康福祉局WEB　たばこと健康　禁煙NOTE）

喫煙後直後から60分後までのニコチン血中濃度の変化は下図のとおりで，血中濃度が10μg/l前後になると不快な症状が出始めます．ストレス解消のために喫煙するという人がいますが，ニコチンの離脱症状そのものが喫煙によって生じるストレスになります．喫煙者は毎日30回程度軽い離脱症状とニコチン接種による症状からの回復を繰り返しています．

禁煙を始めて3日間は喫煙への渇望はいつでも起こり，大半の人は1週間以内に喫煙欲求に負けますが，これに耐えると3週間かけて徐々に喫煙欲求が減り，3ヶ月を過ぎるとほとんど喫煙欲求が出なくなります．ただし喫煙する場に遭遇した時など突如として喫煙欲求が出る場合があります．1年間禁煙継続できれば一生禁煙できる可能性があります．



（引用：岡山明・喜多義邦編著『禁煙の個別健康教育』保健同人社，2000年）
（引用：日本禁煙学会編『禁煙学』改訂2版 南山堂，2010年）

禁煙を成功させるためのポイント

① 目標を設定し禁煙宣言を他の人に対し公言する
② 吸わない環境づくりをこころがける
③ 禁煙仲間をつくる
④ 自分の行動パターンを知る
⑤ 水を飲む，ガムを噛む
⑥ 散歩や軽い運動をする
⑦ 禁煙中は飲みに誘われても断る勇気を持つ
⑧ 禁煙外来のある医院で医師に相談する
⑨ 医師から処方されたニコチンパッチやニコチンガムを利用する
⑩ 禁煙に成功したあかつきには自分に褒美をあげる！

タバコがやめられない２つの依存

- ニコチンが脳に作用して吸いたいという「身体的依存」
- 口さみしいから吸いたいという喫煙習慣からくる「心理的依存」

記入日　　年　　月　　日　　時　　分

安否確認票

氏名　　学籍番号

持病・アレルギー　　血液型

所属（学部・大学院等）

担当教員と電話番号

ケガの状況　　緊急避難場所

当面の居場所　　連絡先

大地震のときの心得

1● 倒壊、落下物から自身を守る。冷静に揺れのおさまりを待つ。

2● ドアを開け、避難ルート、非常口の確認。エレベーターは使わない。

3● 火の始末。火が出たら仲間と協力して、可能な限り、初期消火。

4● けが人が出たら、協力して救助、安全な場所へ移す。

5● 指定されている避難場所に集まり、安否を連絡する。

大学キャンパス内の避難場所の確認方法

以下ウェブサイトで確認することができます
https://www.ynu.ac.jp/about/evacuation/

←QRコードはこちら

大地震行動マニュアル

Ver. 4

YNU 横浜国立大学
YOKOHAMA National University

けが人への対応

応急処置で間に合う場合

保健管理センター

TEL **０４５−３３９−３１５３**

へ連絡・搬送

緊急時

●救急車を呼ぶ

１１９ へダイヤル

●かながわ救急相談センターへ連絡する
（救急車を呼ぶべきか悩むときなど）

TEL **＃７１１９**

**（または ０４５-２３２-７１１９
または ０４５-５２３-７１１９）**

今すぐ受診すべきか救急車を呼ぶべきか
→「1」番を選択

緊急受診できる病院を知りたい
→「2」番を選択

県外からおかけの方
→「3」番を選択

大学への連絡方法

安否確認システムからメールが届いたら、直ちに安否情報を送信してください

安否確認システムメール送信元アドレス
no-reply@jecc.jp

※大地震発生時にメールが届かない場合はこのマニュアルについている「安否確認票」を大学に提出してください

携帯キャリア各社の災害用伝言板サービス

大規模災害発生時に、携帯電話から安否情報を登録したり、指定のメールアドレスに送信できる他、電話番号で安否情報を確認できます。

NTT docomo　au　Softbank Y！mobile

※伝言確認時に、web171を含め他社災害用伝言板に登録されている場合は、当該事業者の災害用伝言板にジャンプできます。

家族への連絡方法

電話で確認　ＮＴＴ災害用伝言ダイヤル

171 へ ダイヤル

ガイダンスを聞く

録音「1」　再生「2」

連絡したい方の電話番号をダイヤル

「1」→伝言録音（30秒以内）　「1」→伝言再生

インターネットで確認 ＮＴＴ災害用伝言板

https://www.web171.jp/
（web171）へアクセス

web171

伝言の登録　伝言の確認・再生

※災害用伝言ダイヤルとｗｅｂ１７１は相互連携しています

(yyyy/mm/dd) Time

Date / / :

Safety Confirmation Form

Name | Student ID No.

Medical conditions / allergies | Blood type

Faculty / Graduate school

Supervisor and phone number

Injuries | Emergency evacuation area

where you can be found | Contact

WHAT TO DO

IN CASE OF A MAJOR EARTHQUAKE

1. Protect yourself from collapsing and falling objects. Stay calm and wait for the tremor to stop.
2. Open the doors, check evacuation routes and emergency exits. Do not use elevators.
3. Extinguish fire. If a fire breaks out, work in a group to extinguish it as soon as possible.
4. If someone is injured, work together to rescue them and move them to a safer place.
5. Move to the designated evacuation area and report your safety.

THE EVACUATION AREA IN YNU

Check the following website
https://www.ynu.ac.jp/english/about/evacuation/

MANUAL FOR ACTION UNDER MAJOR EARTHQUAKE

Ver.4

YNU 横浜国立大学
YOKOHAMA National University

ASSISTANCE FOR INJURED PEOPLE

For first aid:

Contact or transport to the Health Service Center

TEL 045-339-3153

In case of emergency:

●Call an ambulance on

no area code 119

●Contact the Kanagawa Emergency Consultation Center
(If you are not sure whether to call an ambulance or not.)

TEL #7119
(or 045-232-7119
or 045-523-7119)

To consult if I should call an ambulance→ Push 1

To know which hospital to go to in an emergency→ Push 2

When calling from outside Kanagawa Prefecture → Push 3

HOW TO CONTACT THE UNIVERSITY

Please report your safety as soon as you receive an email from the safety confirmation system.

Source address:
no-reply@jecc.jp

※If you do not receive an email in the event of a major earthquake, please submit the "Safety Confirmation Form" attached to this manual to YNU.

Disaster Message Board Services offered by telecommunication companies

Enable users to register their safety, send it to a designated email address, or confirm their safety by phone number in the event of a major disaster.

NTT docomo | au | Softbank Y!mobile

※When you check your messages, you can jump to the Disaster Message Board of other companies, including web171, if they are registered in the Disaster Message Board.

HOW TO CONTACT YOUR FAMILY

NTT Disaster Emergency Message Dial

Dial 171

follow the voice guidance

for recording Dial 1

for playback Dial 2

Dial the phone number of the person that you want to contact

Dial 1 → Record messages in 30seconds

Dial 1 → Playback the messages

NTT Disaster Message Board web171

Go to the following website
https://www.web171.jp/

web171

Posting messages

Reading messages

※ Disaster Emergency Message Dial(171) and Disaster Message Board web171 are mutually linked.

学生生活に関する注意事項

違法行為、不正行為は横浜国立大学学生の懲戒に関する規則に基づき懲戒の対象になる場合があります。

右の行為のほか、万引き（窃盗）・器物損壊等の刑法や、神奈川県の条例をはじめとする各種法令に違反する行為は厳に慎んでください。

意図せず加害者になる可能性があります。

知らなかったでは済まされません。

★研究不正
捏造、改ざん、盗用、二重投稿、不適切なオーサーシップ、研究データの破棄や不適切な管理による紛失等は研究不正に該当します。

★インターネットの利用
SNS は私的な空間と錯覚しがちですが、特に設定をしない限りは他人も閲覧可能な公共の場です。誹謗中傷、肖像権をはじめとする各種権利の侵害は冗談のつもりであっても、訴訟を提起されることがあります。
横浜国立大学では以下のとおり SNS の利用について定めています。
<国立大学法人横浜国立大学ソーシャルメディア利用に関するガイドライン>

★ハラスメント
行為者の意図に関わらず、相手方に不利益や不快感、脅威を与えたり、個人の尊厳または人格を侵害することです。
軽い気持ちでの発言が相手を深く傷つけることもあります。

★ソフトウェアの不正使用
ソフトウェアを規約に反してコピーすると、多額の賠償金を請求されるおそれがあるだけでなく、著作権法違反で逮捕される場合があります。

★大麻、違法薬物の使用
2024 年 12 月 12 日から大麻について、所持、売買等だけでなく、使用が違法になりました。（医療目的を除く）

★不正経理
架空の出張を申請し、その経費を請求することや実際に物品を購入した時期と別の時期の購入を装うことは不正経理です。

〒240-8501 神奈川県横浜市保土ケ谷区常盤台 79-5
TEL：045-339-3818 Email：ses.daigakuin-eng@ynu.ac.jp

横浜国立大学 理工学系事務部教務課 理工学府係